

京都駅東部エリア活性化将来構想検討委員会

京都駅東部エリアの現況

目 次

京都駅東部エリアの現況 1

1 京都駅東部エリアについて 1

2 上位計画・関係する計画等 2～4

3 都市計画 5

4 景観計画等 6

5 人口等の現況 7～9

6 空き家の状況 10

7 文化芸術等に関わる現況 11～13

8 交通環境の現況 14～15

9 観光資源の立地 16

10 商業施設の立地 17

11 宿泊施設の状況 18

12 まちづくり活動の状況 19

平成30年9月8日

京都駅東部エリアの現況

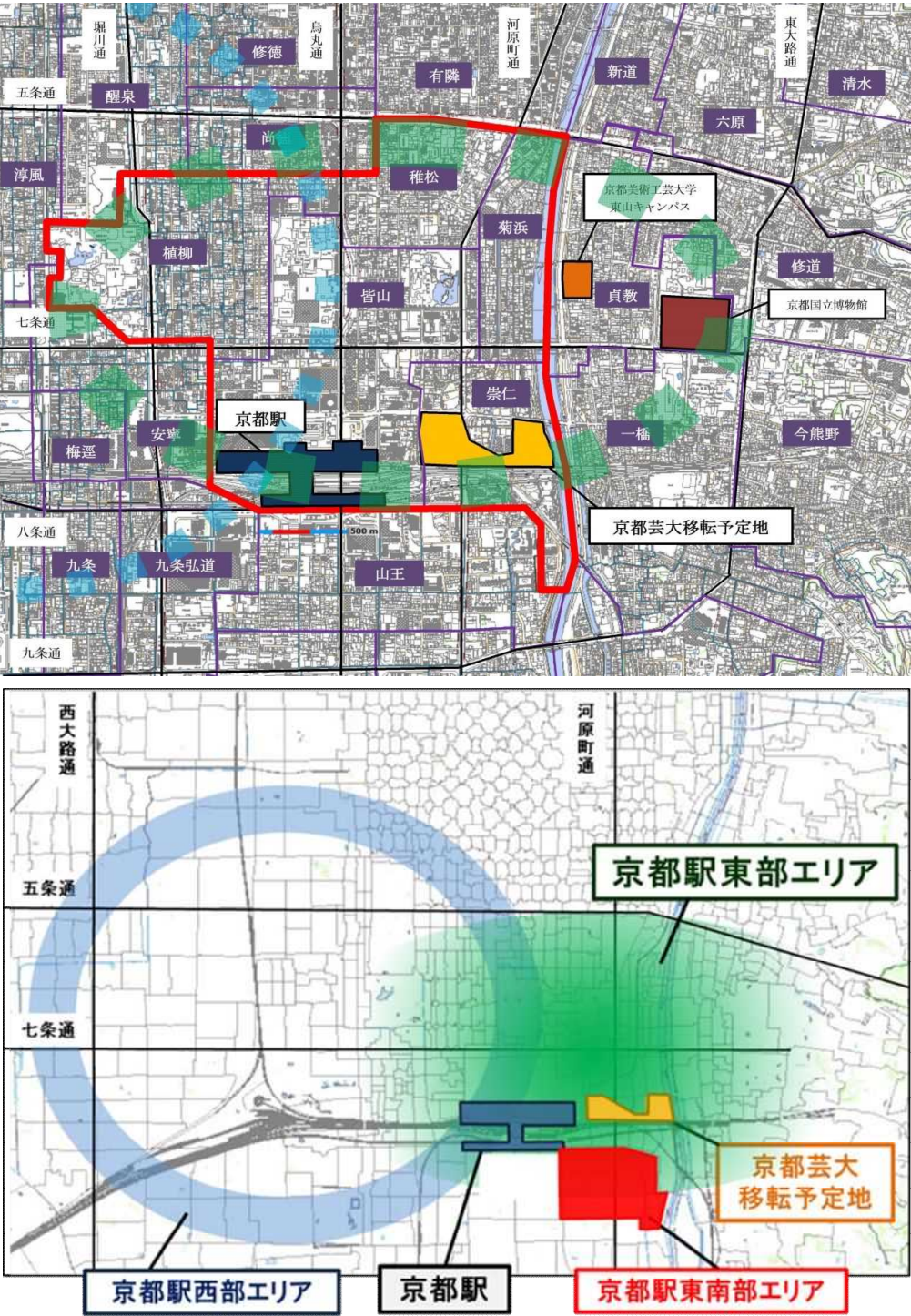
1 京都駅東部エリアについて

現況

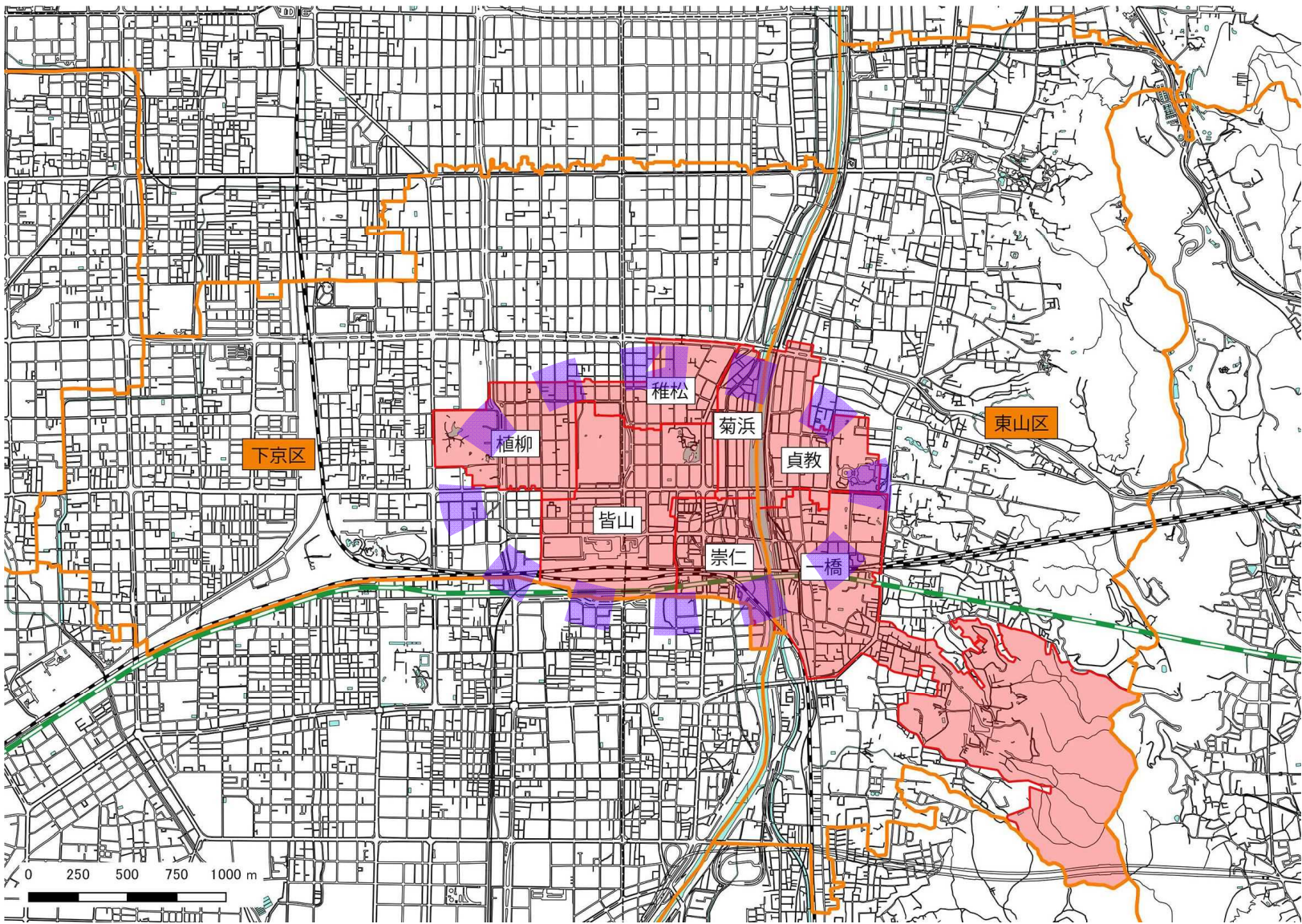
○「京都駅東部エリア」は、「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」の構築に取り組む下京渉成小学校区の5学区（植柳、稚松、菊浜、皆山及び崇仁学区）【赤線】を中心に、鴨川の東側にある「京都国立博物館」や「三十三間堂」などに続くエリアー帯【以下の緑点線】を対象とする。

○行政区別では、下京区の植柳、稚松、菊浜、皆山及び崇仁学区の5学区、東山区の貞教及び一橋学区の一部が含まれる。
○なお、本エリアは、「京都駅西部エリア」「京都駅東南部エリア」に隣接し、京都駅周辺と歴史的都心地区（御池通、河原町通、四条通、烏丸通に囲まれたエリア）や東山の文化エリアとを結ぶ動線上にある。

■範囲



■下京区、東山区と各学区の位置図



2 上位計画・関係する計画等 (1)

現況

- 「京都駅東部エリア活性化将来構想」の位置付けは以下のとおりであり、上位計画（「はばたけ未来へ！京プラン」など）等を踏まえ、「京都駅西部エリア活性化将来構想」及び「京都駅東南部エリア活性化方針」と連動させて策定するものとする。
- 「京都駅東部エリアのまちづくりの推進」については、「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画により、「重点プロジェクト」のひとつに位置付けられ、「京都市立芸術大学の移転整備を契機に」「京都の玄関口にふさわしい個性豊かで魅力的なまちづくりを進める」とされている。

- 下京区、東山区では、平成32年度までの10年間のまちづくりの指針として、それぞれ基本計画を策定し、「絆、魅力、伝統を未来につなぐまち 下京」（下京区）、「山紫水明の都 結び合う心 東山の未来」（東山区）をスローガン等としている。

■「はばたけ未来へ！京プラン」後期実施計画（平成28年3月策定）

関連する重点戦略

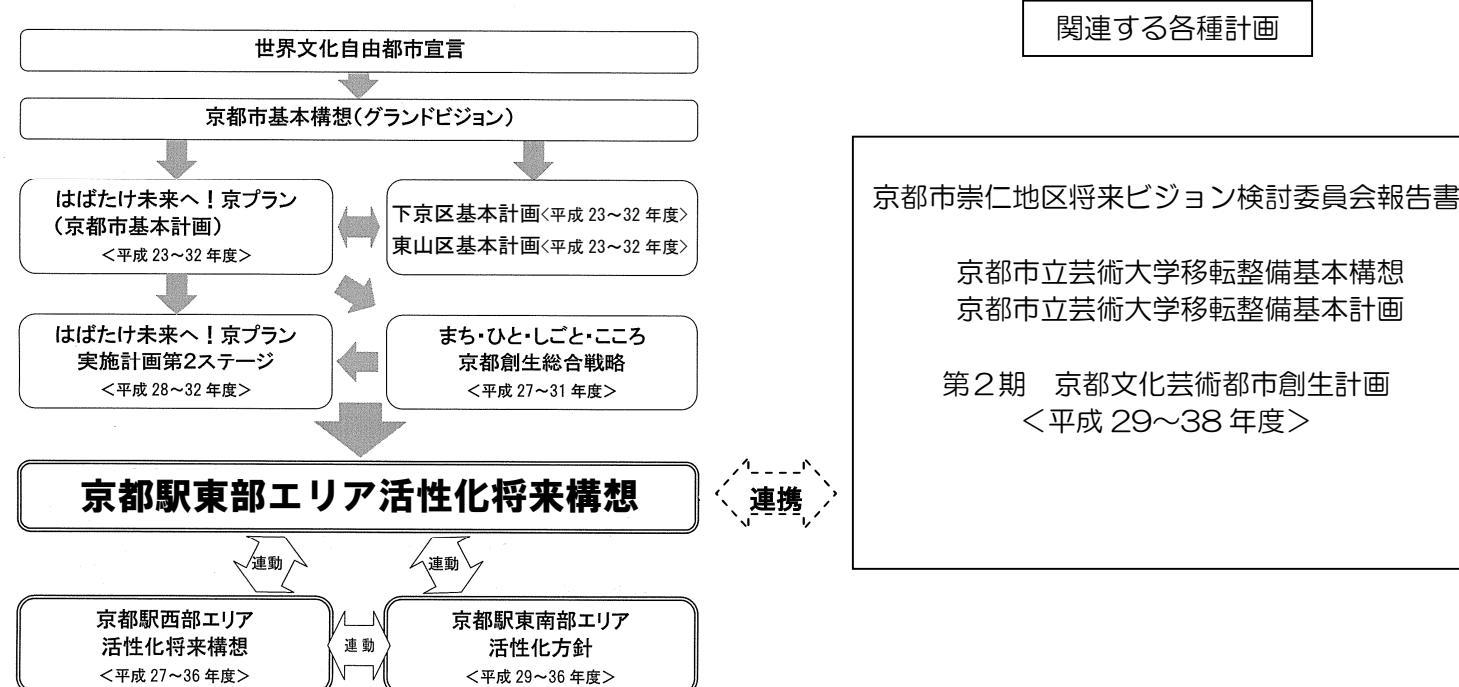
- 魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす
「個性と活力あふれるまちづくり戦略」

重点プロジェクト

●京都市立芸術大学の移転整備を契機とした崇仁地域を中心とする京都駅東部エリアのまちづくりの推進

京都市立芸術大学の移転整備を契機に、崇仁地域において、新たな土地の利活用を図るため、住宅地区改良事業と土地区画整理事業との合併施行をより一層推進するとともに、周辺地域を含め、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学等の多様な主体の参画によるエリアマネジメント体制の構築に取り組み、京都の玄関口にふさわしい個性豊かで魅力的なまちづくりを進める。

■基本構想の位置付けイメージ



■下京区基本計画（平成23年3月策定）

●スローガン 絆、魅力、伝統を未来につなぐまち 下京

- テーマⅠ 人と人との絆（きずな）をつなぐ（人をつなぐ）
- Ⅰ－1 健やかな暮らしを地域力で育もう
 - Ⅰ－2 近所のお付き合いで安心を支えよう
 - Ⅰ－3 地域力を生かして安全を高めよう

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ（空間をつなぐ）

- Ⅱ－1 まちの活力を高めよう
- Ⅱ－2 まちの個性を生かし魅力を高めよう

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ（時をつなぐ）

- Ⅲ－1 エゴを捨ててエコ活動しよう
- Ⅲ－2 担い手の育ちを支えよう

■東山区基本計画「東山・まち・みらい計画2020」（平成23年3月策定）

●東山区のまちづくりのキャッチフレーズ 山紫水明の都 結び合う心 東山の未来

- 未来像1 「緑と清流、風情ある町並みが、心にも環境にもやさしいまち・東山」
◎ まちづくり方針 「木と水の文化の推進」
- 未来像2 「ゆっくりとした時間と奥深く魅力のある空間が広がり、五感が洗練されるまち・東山」
◎ まちづくり方針 「クルマ依存型社会からの脱却」
- 未来像3 地場産業が元気で、人のにぎわいがあふれるまち・東山
◎ まちづくり方針 「経済活動と市民生活の調和」
- 未来像4 世代を超えて互いを認め合い、支え合うまち・東山
◎ まちづくり方針 「多世代共助社会の実現」

2 上位計画・関係する計画等 （2）

現況

- 「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会報告書」において、その将来ビジョンを「創造・交流・賑わいのまち ～人と地域をつなぐ まちづくり～」としている。
- 将来ビジョンの具体化のため、住宅地区改良事業の早期完了とともに顕在化する新たな土地等への「魅力的機能、施設等の導入」や、鴨川、高瀬川の流路、柳原銀行記念資料館等の「環境に配慮した魅力ある景観形成」などの提言がなされている。
- 「魅力的機能、施設等」の例示として、大学等が挙げられている。

- 「京都市立芸術大学移転整備基本計画」では、移転整備の基本理念を「京都の玄関口・京都駅の東部エリアに、文化芸術を創造し、国際的に様々な人が集い、交流し、まちが賑わい、世界に発信する『文化芸術都市・京都』の新たなシンボルゾーンを創生する」こととしている。

■京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会報告書（平成22年7月作成）

将来ビジョン： 創造・交流・賑わいのまち ～人と地域をつなぐ まちづくり～

（1） 崇仁北部地域全体を視野に入れた将来ビジョン

～「つなぐ」をキーワードに広い視点からの検討～

「地域をつなぐ」ことについて、当地区は京都最大の交通ターミナル京都駅から徒歩数分の場所にあり、鉄道や道路の交通の利便性が高く、東山観光エリアへの動線上にある。これらの立地性を生かし、国内外からの観光客等の多様な人々が集まり、交流と賑わいが創出される可能性があることから、周辺地域との関連性はもとより、世界とのつながりをもイメージできるまちづくりが重要である。

「人をつなぐ」ことについて、創造的なまちづくりを推進するには、企画と経営に参画できる人材の確保が重要となる。新規来住者を含むコミュニティとしてのつながり、市民の幅広い参画、様々な事業者や専門家の参画を通して、これらの人々の主体的な取組と行政等との連携によって、活気あるまちが運営できる（エリア・マネジメント）体制づくりが重要な課題となる。

（2） 魅力的機能、施設等の導入（新たな土地等の利活用）

～ 魅力と賑わいのまち ～

将来的に地域のイメージとなり、人々が訪れたい求心力のある機能、施設等については、どのような地域機能や都市施設が適切であるかを、本ビジョンの策定段階では特定しないが、例えば、大学のサテライトや、創造的人材が集まるアトリエやスタジオ等と、それらが住宅と一体となったSOHO（ソーホー）機能、遊歩道沿いの賑わいを創出するイベント広場や商業、観光、宿泊施設等の機能、施設の導入が考えられる。

（3） 環境に配慮した魅力ある景観形成

～ 地域資源を生かす景観・環境づくり ～

当地区が、京都駅から東山への観光動線上にある利点を生かし、四季の景観に厚みを持たせた緑化を積極的に進め、鴨川や高瀬川の流路、柳原銀行記念資料館等の地域資源の有効活用を図り、新しい市街地景観デザインを形成し、歩いて楽しくなるまちが実現されることも望まれる。

（4） 多様な住宅の供給

～ コミュニティ再活性化と多様な住宅供給 ～

誰もが住みやすい居住環境の形成に当たっては、既存の福祉施設の積極的運用、子育て家族や留学生家族などへの空き住戸の条件付き提供、ストック更新時における生活施設の整備などを並行して進めることが望まれる。

■京都市立芸術大学移転整備基本計画（平成29年3月策定）

移転整備に向けて

～創造の“火床”を京都駅東部へ～

この度、京都芸大のこれまでの永年の取組を継承しながらも、京都の持つ文化資源の利活用や産業界・他大学をはじめとする様々な分野との交流を更に推し進め、世界に向けて一層の飛躍を果たすとともに、「市民に愛され、誇りに思ってもらえる大学」として、京都のまちとともに発展していくよう、京都の玄関口であるJR京都駅東部の崇仁地域に移転整備することとしました。

また、この地域が文化芸術創造の新たな“火床”となり、国内外の人々が集まり、交流し、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンとなることを目指します。

移転整備の基本理念

京都の玄関口・京都駅の東部エリアに、文化芸術を創造し、国際的に様々な人が集い、交流し、まちが賑わい、世界に発信する、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生します。

●基本理念を実現するための施設整備方針

- ① 文化芸術による世界の人々との交流を促進するとともに、地域のまちづくりと連動する。
- ② 世界に冠たる芸術大学として一層の飛躍を目指すため、教育環境を充実させる。
- ③ 自由で独創的な研究活動を活発化し、国際的な文化芸術の基軸となるため、研究環境を充実させる。
- ④ 教育・研究成果の社会への発信機能を充実させる。
- ⑤ 誰もが利用しやすい、安心・安全と景観・環境へ配慮した施設とする。

※ 基本計画は、平成27年3月に策定された「京都市立芸術大学移転整備基本構想」等を踏まえ策定された。

2 上位計画・関係する計画等 (3)

現況

○「第2期京都文化芸術都市創生計画」では、「京都駅の東部・東南部・西部エリアのまちづくりの取組を連動させ、京都の玄関口である京都駅の周辺エリアで『文化芸術都市・京都』の新たな文化ゾーンの創出を目指す」こととしている。

○京都駅西部エリアでは、平成27年3月に「京都駅西部エリア活性化将来構想」を策定し、「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」を将来ビジョンとしている。

○京都駅東南部エリアでは、平成29年3月に「京都駅東南部エリア活性化方針」を策定し、『文化芸術』と『若者』を基軸とした新たなまちづくりに取り組んでいる。

■第2期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）

基本方針：成熟した都市文化を基盤に新しい文化を創造し続けるまち

方向性1：暮らしの文化や芸術に対する豊かな感受性をもった人々を育む

方向性2：多様な文化が根付く暮らしの中から、最高水準の文化芸術活動を花開かせる

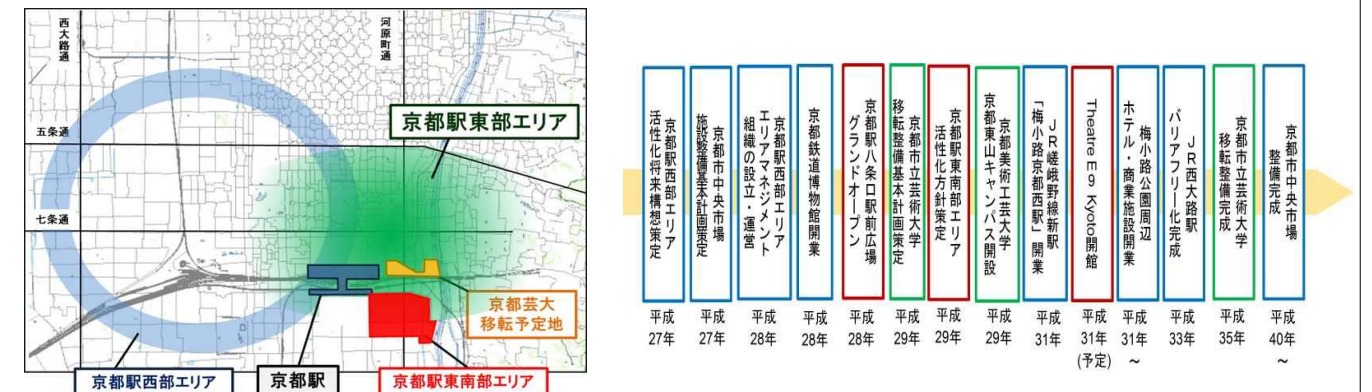
方向性3：京都の文化芸術資源を活用し，文化を基軸にあらゆる政策分野との融合により，新たな価値を創造する

方向性4：様々な文化交流を推進し、京都の魅力を発信する

京都駅東部エリアに関する内容

- （方向性1より）市民の文化芸術活動を応援する
39 若手芸術家やクリエイター等の市民・民間団体の活動をサポートし、異なるジャンル間のネットワークを形成するための場・機会の提供
- （方向性2より）文化芸術の担い手を育成・支援する
68 若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりを支援する東山 アーティスト・プレイスメント・サービス（HAPS）の取組の推進
- （方向性2より）地域のまちづくり活動と連携する
73 京都駅周辺エリアをはじめ、新たな文化ゾーンの創出等による地域の特色づくりの推進
崇仁地域への京都市立芸術大学の移転整備を見据え、京都駅の東部・東南部・西部エリアのまちづくりの取組を連動させ、京都の玄関口である京都駅の周辺エリアで「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出を目指します。（以下略）
- （方向性3より）観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合
82 文化芸術資源を再認識し、文化芸術資源と学術・技術の融合による新たな価値・イノベーションの創出
京都にとって当たり前のように捉えられている伝統的な文化芸術、技術やサービスは、外部の目から見ると違う価値があり、新たな可能性を秘めています。また、文化芸術は、学術や技術と融合することで、無限の可能性が広がります。大学等の研究機関や本市の産業技術研究所などと連携することで文化芸術に関するイノベーションを起こし、文化芸術の魅力を最大限に引き出した公演や商品開発等を検討します。
- （方向性3より）文化施設を充実する
111 京都市立芸術大学の移転整備
京都市立芸術大学は、我が国随一の芸術の学びと創造の拠点として歴史と伝統を重ねてきましたが、世界に冠たる芸術大学として一層飛躍するため、京都の玄関口・京都駅の東部エリアへの移転整備を進めます。また、この移転整備を契機として、京都駅の東側に、「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出を目指します。

■京都駅西部エリア及び京都駅東南部エリアについて



京都駅西部エリア…多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち

京都駅西部エリア活性化将来構想（平成27年3月策定）＜平成27年度～平成36年度＞

京都駅西部エリアでは、エリアマネジメント組織をはじめ、様々な企業・団体・行政など、多様な地域主体の連携によるまちづくりにより、「居住」「業務」「集客」それぞれの面で、多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出することを目指している。

- ◇ 「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト*」による、梅小路公園における大型集客イベントの実施や、七条通や梅小路公園内へのモニュメントの設置など、回遊性を向上させる歩行者環境の整備
 - ◇ 平成31年春、ＪＲ嵯峨野線の七条通付近に「梅小路京都西駅」が開業予定
 - ◇ 七条通沿いなどの7商店街によるスタンプラリーの実施
 - ◇ 京都リサーチパーク、京都高度技術研究所、京都市産業技術研究所による新事業・ソーシャルビジネス創出、ものづくり（工芸やデザイン等）の技術支援 など
- * 京都駅から梅小路公園までのエリアの賑わいの創出、回遊性の向上を目的とする企業・団体が構成される団体

京都駅東南部エリア…「文化芸術」と「若者」を基軸とした新たなまちづくり

京都駅東南部エリア活性化方針（平成29年3月策定）＜平成29年度～平成36年度＞

京都駅東南部エリアでは、京都駅東部エリアに隣接する立地特性等を踏まえ、エリアのまちづくりに「文化芸術」という新たな視点を取り入れることにより、「若者」を中心とした新たな人の流れを生み出し、本エリアが抱えている課題を解決するとともに、京都全体の活性化につなげていくため、長期的な視点に立った4つの柱の下、取組を進めている。

- 柱① 日本の文化芸術を牽引し、世界の人々を魅了する創造環境の整備
- 柱② 京都駅周辺の都市機能を強化する魅力的な施設の誘導
- 柱③ 若者の移住・定住促進とまちづくりの担い手育成
- 柱④ これまでのまちづくりと多様な新しい力との融合

【推進項目】

- ◇ 未活用の市有地に「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」を誘致
- ◇ 文化芸術関連産業の集積、雇用の創出（例：Theatre E9 Kyoto の開館（平成31年予定））
- ◇ 空き家や市有地の暫定利用による、若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり
- ◇ 若手芸術家や学生等による、文化芸術の発信の場としての、道路や河川等の公共空間の活用などの推進

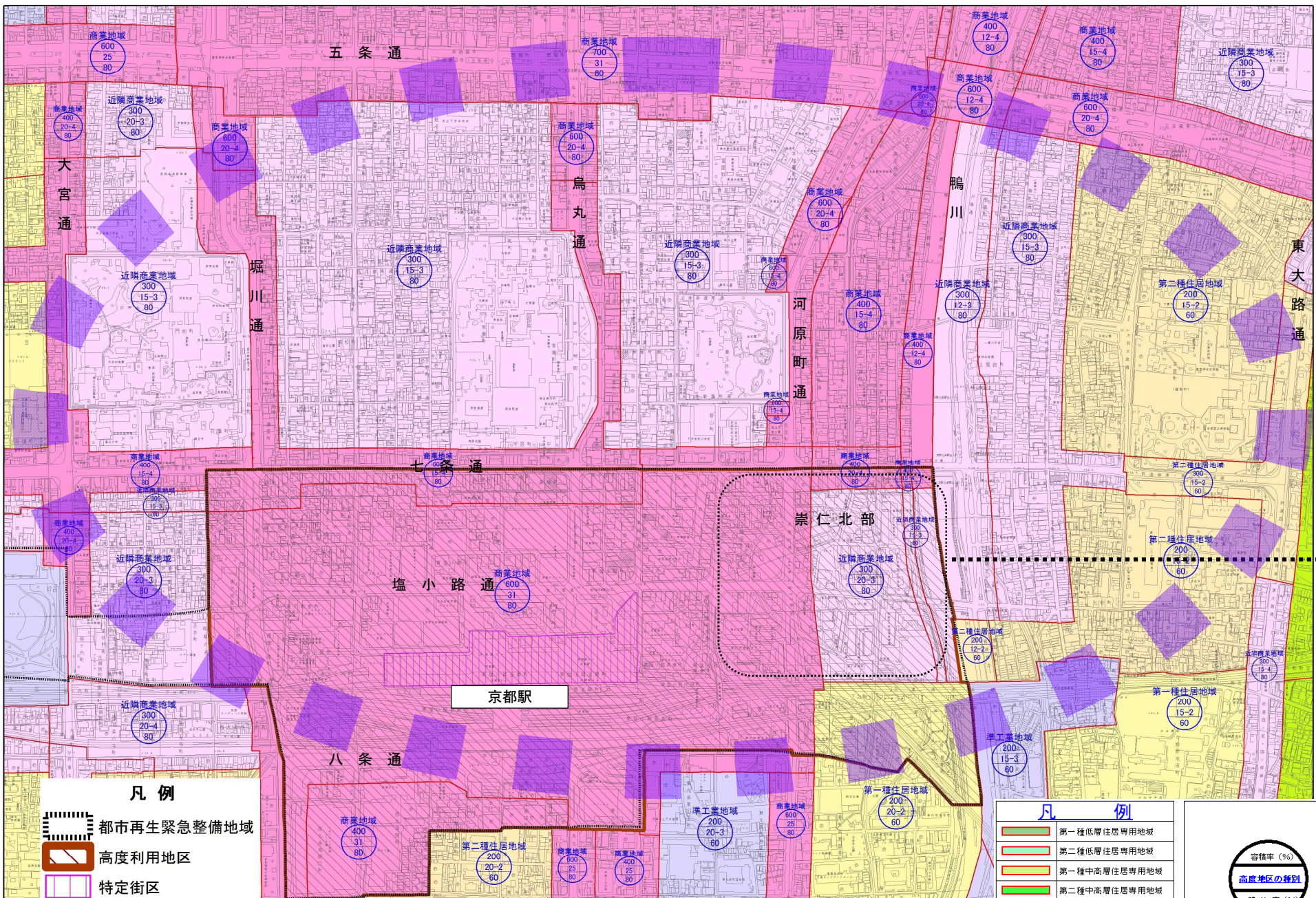
3 都市計画

現況

- エリアごとに建てられる建築物の用途等を定めている用途地域により、京都駅周辺及び主要幹線道路沿い（堀川通、烏丸通、河原町通、五条通、七条通）は主に商業地域（容積率400%、600%又は700%）、その他は、近隣商業地域（300%）、第二種住居地域（200%）などに指定されている。
- 建築物の高さの最高限度を定める高度地区により、京都駅周辺及び五条通沿いで31m、河原町通沿い等で20m、鴨川周辺で12m、その他のエリアで15mの高さ制限がある。

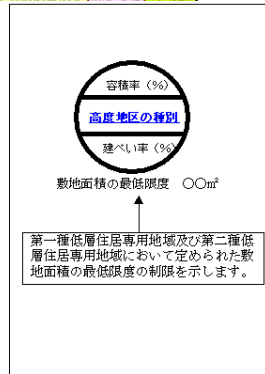
- 京都駅周辺で「高度利用地区」「特定街区」「都市再生緊急整備地域（京都駅周辺地域）」の指定がある。
- 崇仁学区において、住宅地区改良事業を実施している。また、住宅地区改良事業の早期完了により住環境の改善を進め、新たな土地等の利活用を図るため、土地区画整理事業を合併施行している。

■都市計画 ※対象エリアが含まれる「都市計画用途地域図」



- 都市再生緊急整備地域…都市の再生の拠点として、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域。この地域内に都市再生特別地区を定めることで、同地区の容積率の緩和等が可能となる。
- 高度利用地区…市街地における都市空間を有効に利用し、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、建築物の建築面積の最低限度、建ぺい率の最高限度及び容積率の最高・最低限度等を定める地域地区。
- 特定街区…市街地の整備改善を図るため、街区の整備又は造成が行われる地区について、建築物の容積率、壁面の位置、高さの最高限度等を定める地域地区。

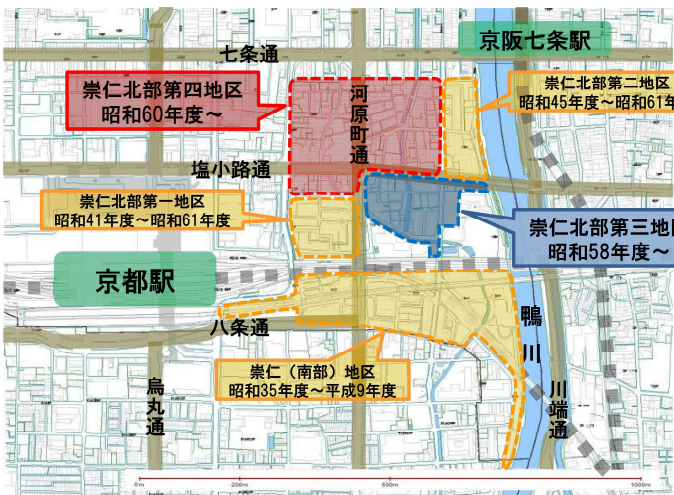
- 凡例
- 第一種低層住居専用地域
 - 第二種低層住居専用地域
 - 第一種中高層住居専用地域
 - 第二種中高層住居専用地域
 - 第一種住居地域
 - 第二種住居地域
 - 準住居地域
 - 近隣商業地域
 - 商業地域
 - 準工業地域
 - 工業地域
 - 工業専用地域



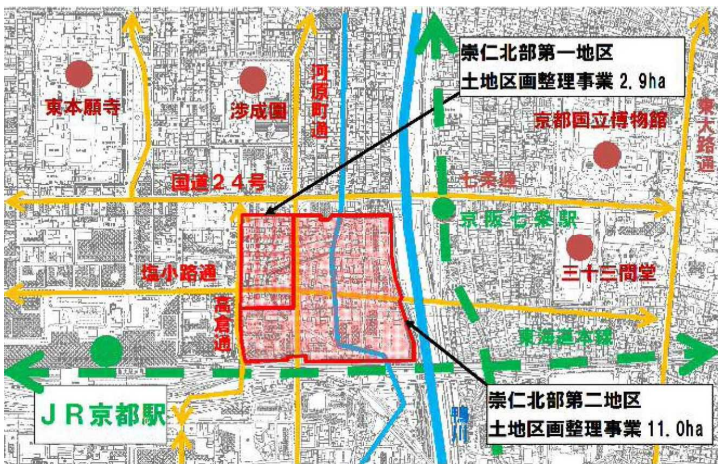
※ 出典：京都市資料

■住宅地区改良事業 事業概要

※ 出典：京都市資料



	崇仁北部 第三地区	崇仁北部 第四地区
1 事業期間	昭和 58 年度 ～平成 31 年度	昭和 60 年度 ～平成 31 年度
2 地区面積	2.21ha	6.40ha
3 事業内容	道路等の公共施設 児童遊園等の地区施設	
(1) 不良住宅の除却	193 戸	436 戸
(2) 土地の整備		
(3) 改良住宅の建設	125 戸	162 戸
4 事業費	約 140 億円	約 423 億円



4 景観計画等

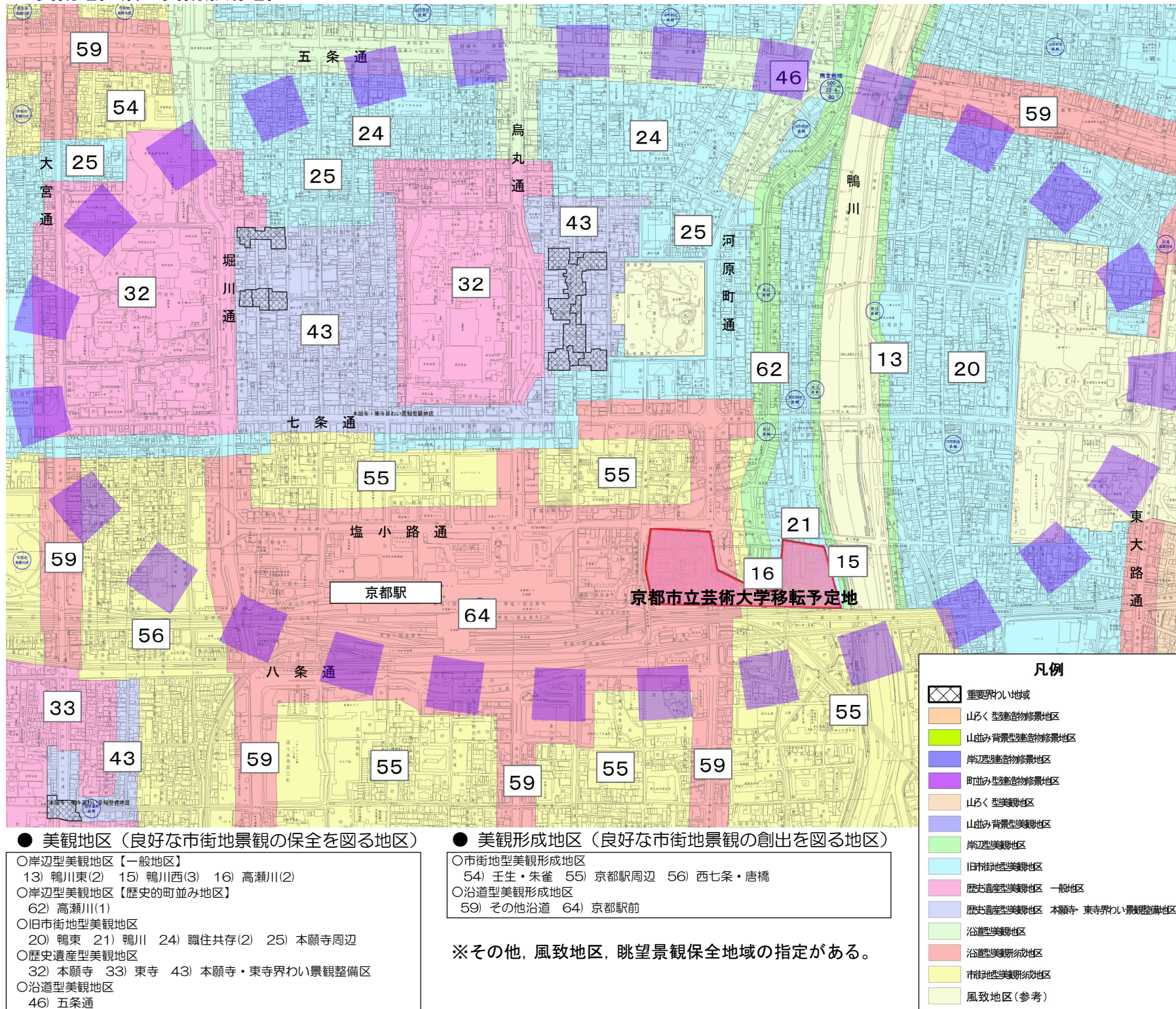
現況

- 本市では、景観づくりに関する総合的な計画として、平成17年12月に「京都市景観計画」を策定している。
- 景観計画では、京町家が多く残る地区など、良好な市街地景観が保全されている地区を美観地区に、良好な市街地景観の創出を図る地区を美観形成地区に指定するなど、地区ごとに建築物等の形態や意匠等の方針を規定している。

- 本エリアは、美観地区や美観形成地区に指定され、その中でも詳細な区分の中で、京都市立芸術大学が移転する崇仁学区周辺では、鴨川や高瀬川沿いの地域は「岸边型美観地区」、京都駅周辺は「市街地型美観形成地区」、京都駅前は「沿道型美観形成地区」などに指定されている。

■美観地区及び美観形成地区

※ 出典：京都市資料



市街地の良好な景観の保全・創出に関する地域別方針（一部抜粋）

○岸边型美観地区

15) 鴨川西(3)

五条通からJR東海道本線までの鴨川の西岸に位置するこの地域は、鴨川に面して、良好な水辺の空間と調和した建築物が立ち並び、緑豊かな潤いある地域独特の情緒と風情を醸す景観を形成している。こうした地域の景観特性を継承することを、この地域の景観形成の基本方針とする。

このため、建築物は、勾配屋根とし、3階以上の壁面を1階の壁面より十分に後退させることにより、河川の広がりある空間と調和した岸边空間を維持する。また、鴨川沿いに緑化を誘導することにより、良好な岸边景観の保全を図る。

16) 高瀬川(2)

七条通からJR東海道本線までの間の高瀬川及びその沿道から構成されるこの地域は、浅瀬の清流である高瀬川に沿って、緑豊かな潤いある地域独特の情緒と風情を醸す景観を形成している。こうした地域の景観特性の継承を、この地域の景観形成の基本方針とする。

このため、建築物は、道路側だけでなく、高瀬川に面した側の形態意匠に配慮するとともに、既存樹木の保全や積極的な緑化を図る。

○旧市街地型美観地区

21) 鴨川

鴨川地域は、(中略)鴨川東岸からの眺望や周囲の町並みに配慮することを、この地域の景観形成の基本方針とする。

この地域における建築物等は、(中略)鴨川に面する外壁面については、形態意匠に配慮する。特に、スカイラインを阻害する塔屋や設備機器、屋外階段のデザインや設置位置等に配慮する。

○市街地型美観形成地区

55) 京都駅周辺

京都駅周辺地域は、(中略)京都の玄関口の周辺として、利便性を求めてホテルや共同住宅等が立ち並び現代的な都市景観を構成している。

このため、この地域における建築物等は、歴史都市・京都の玄関口の周辺地域にふさわしい、建築物の色彩、屋上景観等の整備に努め、格調高いデザインとするとともに、京都らしい洗練された形態意匠の建築物とすることにより、良好な市街地景観の創出を図る。

○沿道型美観形成地区

64) 京都駅前

京都駅前地域は、(中略)利便性を求めてホテルや百貨店等が立ち並び現代的なターミナルとしての都市景観を形成している。

このため、駅前においては、歴史都市・京都の玄関口にふさわしい、建築物の色彩、屋上景観等の整備に努め、格調高いデザインとするとともに、スカイラインを整えることにより、良好な景観を創出する。

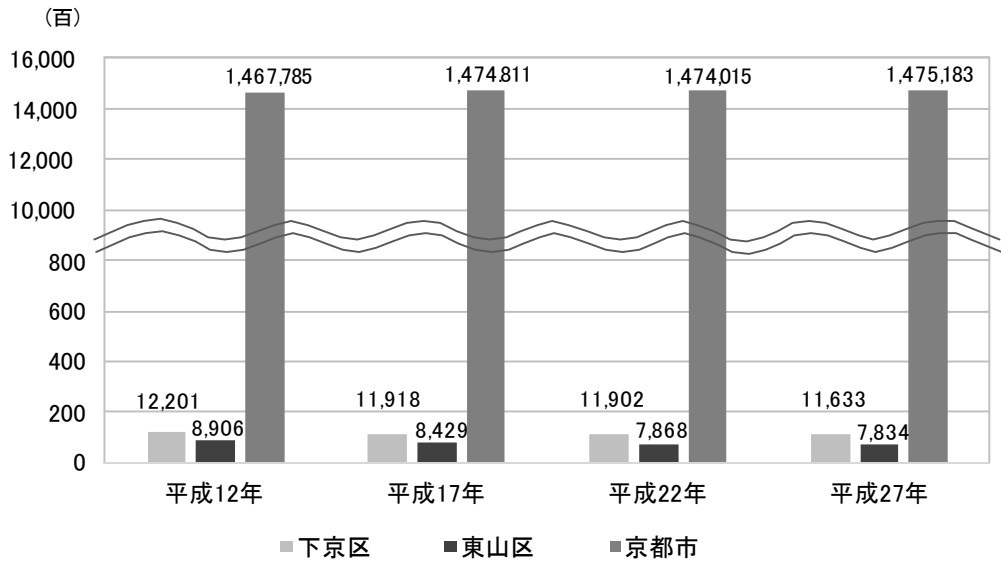
5 人口等の現況 ①人口

現況

○人口は、平成12年から平成27年までの15年間に於いて、全市では0.5%増加している。
○京都駅東部エリア内の7学区では、全体で7.8%（約1,600人）減少し、学区別では、皆山学区は増加し、他の6学区は減少している。

○町丁目別に人口増加率の高い箇所をみると、「七条通沿いの烏丸通から河原町通まで」や、「高瀬川西側の正面通から七条通まで」、稚松及び貞教学区の「五条通沿い」などが該当している。
○町丁目別に人口減少率の高い箇所をみると、崇仁学区の北側や菊浜学区の高瀬川東側などが該当している。

■京都駅東部エリア（下京区5学区・東山区2学区）の人口推移



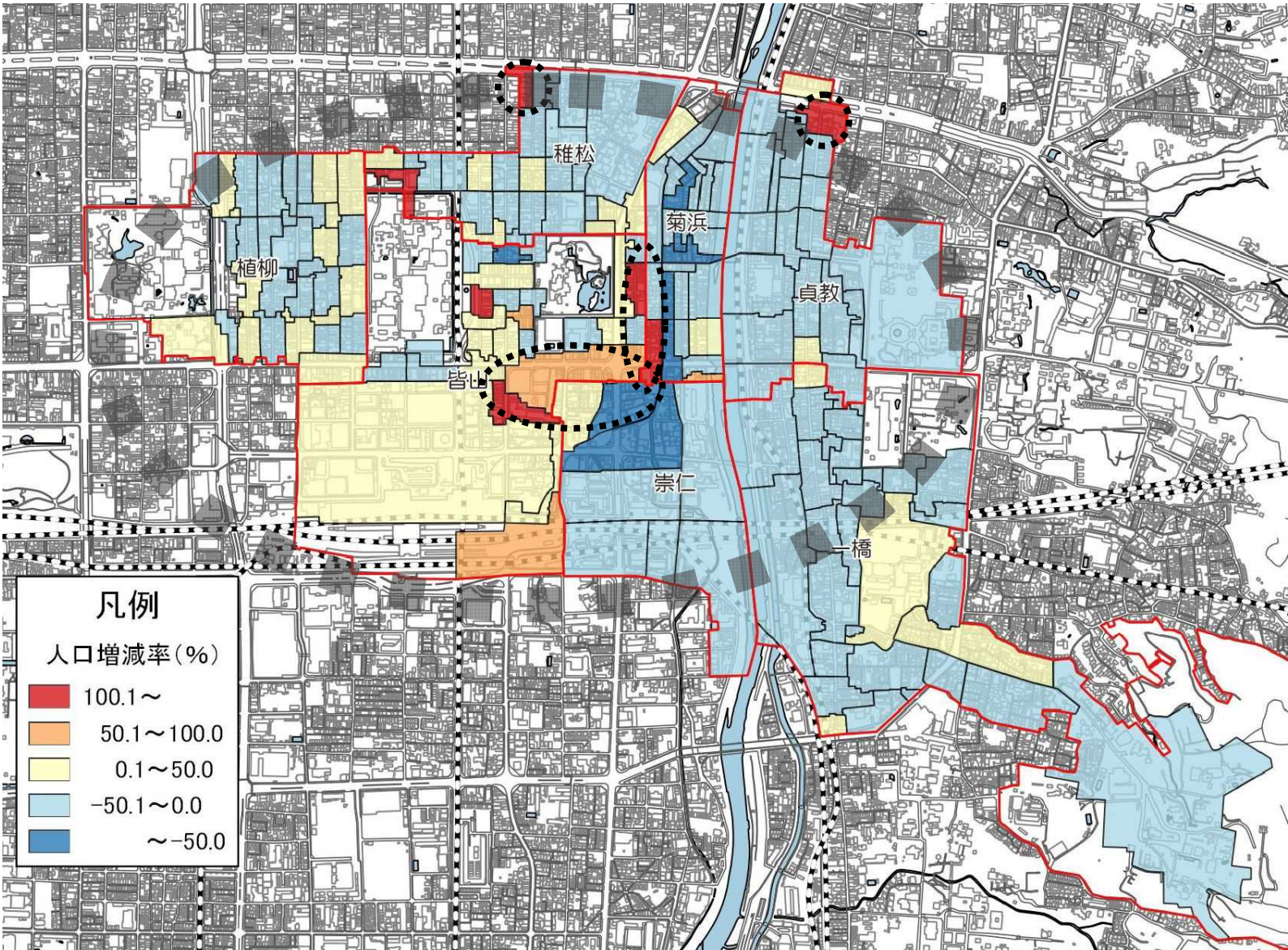
※ 出典：国勢調査

■京都駅東部エリア（学区別）の人口推移

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
植柳	3,063	2,935	2,972	2,903
(増減率)		△4.2	△3.0	△5.2
稚松	2,212	2,109	1,950	2,001
(増減率)		△4.7	△11.8	△9.5
菊浜	2,045	2,119	1,963	1,909
(増減率)		3.6	△4.0	△6.7
皆山	2,612	3,066	3,368	3,417
(増減率)		17.4	28.9	30.8
崇仁	2,269	1,689	1,649	1,403
(増減率)		△25.6	△27.3	△38.2
貞教	3,055	2,796	2,723	2,643
(増減率)		△8.5	△10.9	△13.5
一橋	5,851	5,633	5,145	5,191
(増減率)		△3.7	△12.1	△11.3
7学区	21,107	20,347	19,770	19,467
(増減率)		△3.6	△6.3	△7.8
京都市	1,467,785	1,474,811	1,474,015	1,475,183
(増減率)		0.5	0.4	0.5

※ 増減率は、平成12年の人口との対比で算出している。

■京都駅東部エリア内の学区の人口増減率（平成12年→平成27年の15年間）



※ 出典：国勢調査

5 人口等の現況 ②若年層の割合

現況

○若年層の割合は、平成12年から平成27年までの15年間に於いて、全市では7.6%減少し、29.1%となっている。

○京都駅東部エリア内の7学区では、全体で5.8%減少し、27.6%となっている。学区別では、すべての学区において、減少している。

○町丁目別で見ると、植柳、稚松、菊浜、皆山及び一橋学区の一部においては、全市平均よりも特に若年層の割合が高い地域がある。

■京都駅東部エリア（学区別）の若年層（0～29歳）人口

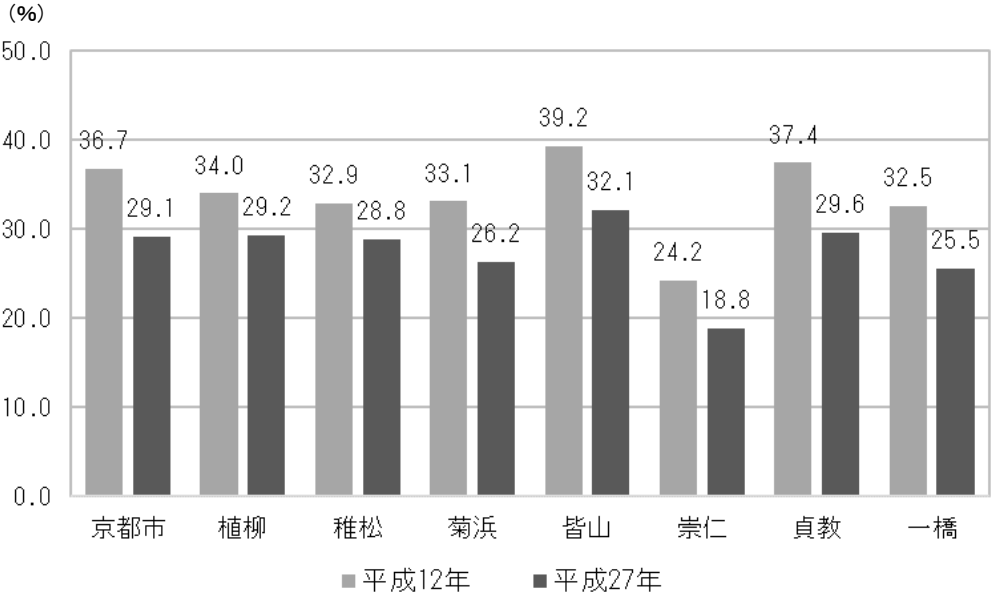
平成12年	植柳	稚松	菊浜	皆山	崇仁	貞教	一橋	7学区	京都市
人口合計	3,063	2,212	2,045	2,612	2,269	3,055	5,851	21,107	1,467,785
0～29歳	1,036	717	672	994	549	1,140	1,903	7,011	534,471
若年層の割合	34.0%	32.9%	33.1%	39.2%	24.2%	37.4%	32.5%	33.4%	36.7%

↓

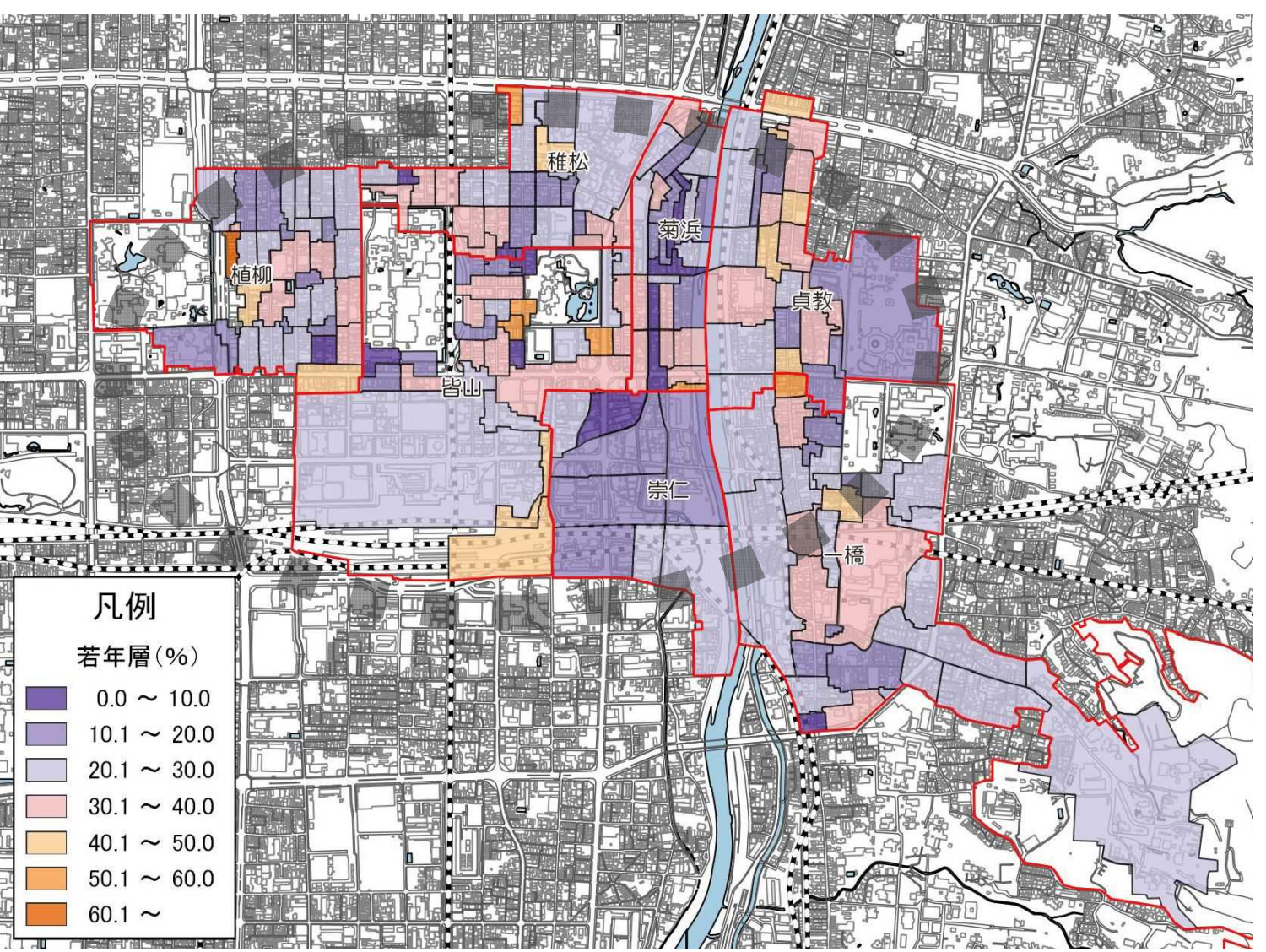
平成27年	植柳	稚松	菊浜	皆山	崇仁	貞教	一橋	7学区	京都市
人口合計	2,903	2,001	1,909	3,417	1,403	2,643	5,191	19,467	1,475,183
0～29歳	798	545	470	985	253	750	1,243	5,044	416,342
若年層の割合	29.2%	28.8%	26.2%	32.1%	18.8%	29.6%	25.5%	27.6%	29.1%

※ 若年層の割合は、若年層の人口を、人口合計から年齢不詳人口を引いた数で除した数値。
※ 出典：国勢調査

学区別の若年層の割合（平成12年と平成27年）



■京都駅東部エリア内の学区の若年層の割合（平成27年）



※ 出典：国勢調査

5 人口等の現況 ③高齢化率

現況

○高齢化率は、平成12年から平成27年までの15年間に於いて、全市では9.3%増加し、26.7%となっている。
○京都駅東部エリア内の7学区では、全体で3.7%増加し、29.3%となっている。学区別では、稚松、菊浜及び皆山学区は減少し、他の4学区は増加している。

○町丁目別でみると、下図中の緑の部分（特に七条通沿いの烏丸通から河原町通までや、烏丸通の東側など）において、高齢化率の低さが顕著となっている。
○町丁目別で人口が増加している地域（7ページの図、点線黒丸印参照）では、概ね高齢化率が低い傾向（下図点線黒丸印）にある。

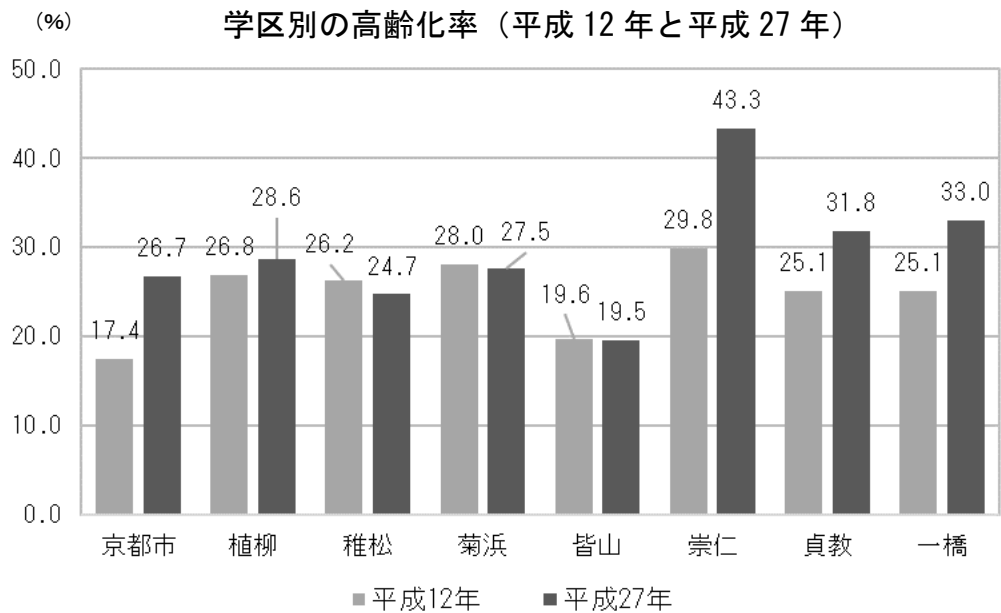
■京都駅東部エリア（学区別）の65歳以上人口

平成12年	植柳	稚松	菊浜	皆山	崇仁	貞教	一橋	7学区	京都市
人口合計	3,063	2,212	2,045	2,612	2,269	3,055	5,851	21,107	1,467,785
65歳以上	818	572	570	497	676	765	1,466	5,364	252,963
高齢化率	26.8%	26.2%	28.0%	19.6%	29.8%	25.1%	25.1%	25.6%	17.4%

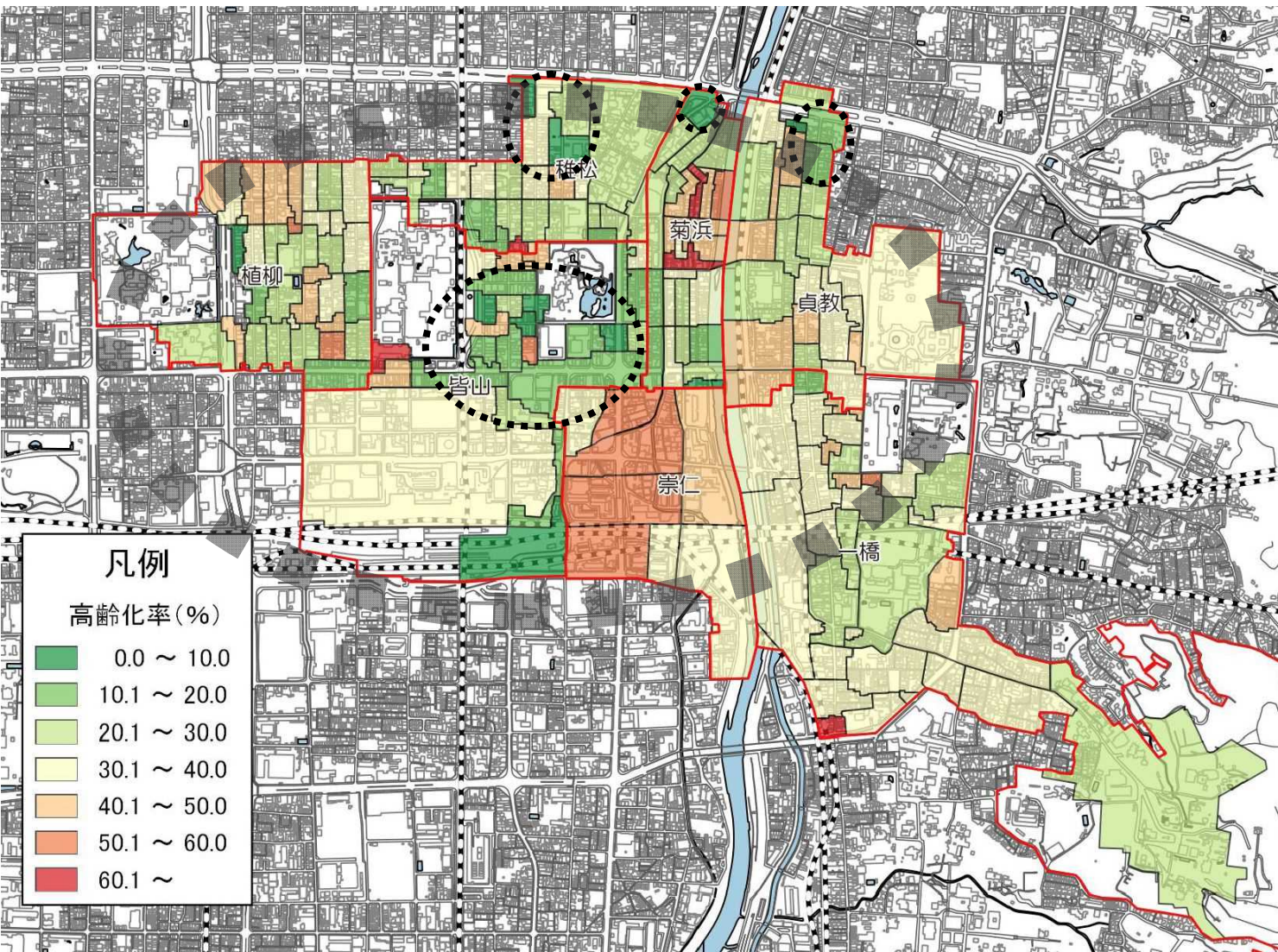
↓

平成27年	植柳	稚松	菊浜	皆山	崇仁	貞教	一橋	7学区	京都市
人口合計	2,903	2,001	1,909	3,417	1,403	2,643	5,191	19,467	1,475,183
65歳以上	780	467	493	600	583	807	1,610	5,340	381,132
高齢化率	28.6%	24.7%	27.5%	19.5%	43.3%	31.8%	33.0%	29.3%	26.7%

※ 高齢化率は、65歳以上人口を、人口合計から年齢不詳人口を引いた数で除した数値。
※ 出典：国勢調査



■京都駅東部エリア内の学区の高齢化率（平成27年）



※ 出典：国勢調査

6 空き家の状況

現況

○京都駅東部エリアのある下京区、東山区の空き家率は、それぞれ 15.1%、22.9%と市平均（約 14%）より高く、特に、東山区は行政区別で最も高い。
○東山区は、高齢化率と空き家率について、ともに最も高くなっている。
○なお、「京都市空き家等対策計画」によれば、高齢化率が高い地域等においては、空き家率が高くなる傾向が指摘されている。

○菊浜学区においては、防災・防犯対策の一環として、「空き家調査」を実施されている。平成 28 年春時点で空き家とみられる建物は、80 軒（平成 27 年度現在、世帯数 1, 282 世帯）であった。

■行政区別の住宅数・空き家数・空き家率（資料：平成 25 年住宅・土地統計調査）



■行政区ごとの空き家数・空き家率、高齢化率（資料：空き家数及び空き家率：平成 25 年住宅・土地統計調査、高齢化率：平成 26 年京都市統計解析No.73）



※ 出典：京都市空き家等対策計画（平成 29 年 3 月）

■菊浜学区の取組例

●菊浜学区の空き家・要配慮者の実態把握

- ・京都市の「地域連携型空き家対策促進事業」を活用し、防災・防犯対策の一環として、空き家調査を実施している。
- ・平成 28 年春の時点で、空き家の軒数は 80 軒（平成 27 年度現在、世帯数は 1, 282 世帯）であった。そのうち、所有者不明の物件や、老朽化が進み、危険な状態の物件もみられた。
- ・災害時・日常時に備え、「地域の支え合い活動」のための「要配慮者情報の登録」を呼びかけた。

●その他

- ・「菊浜まちづくり意見交換会」の開催、「菊浜まちづくりニュース」「菊浜トことこマップ」を作成するなど、学区の課題・地域の魅力の再発見と共有に取り組んでいる。
- また、密集市街地・細街路における防災まちづくりにも取り組んでいる。

（参考：地域連携型空き家対策促進事業）

京都市では、空き家の発生の予防、活用及び適正な管理によって、地域が活性化することを目指し、「地域連携型空き家対策促進事業」を実施している。

本事業において、申請に基づき、選定された地域の自治組織等は、コーディネーター（空き家活用に関する専門知識や経験を持つ民間団体等）や専門家と連携して、以下の取組を行っている。

- ・空き家対策に取り組む地元の体制の整備（空き家対策会議等の設置、定期的な開催）
- ・空き家マップ、空き家台帳の作成、更新方法の確立（空き家情報の防犯、防災等のまちづくりへの活用） など

（参考：京都駅東部エリア外の状況例）

- ・エリア外では、隣接する京都駅東南部エリアの「山王学区」で、空き家数が 184 軒（平成 30 年 4 月末時点）となっている。

7 文化芸術等に関わる現況 ①芸大・美工大の取組

現況

○京都駅東部エリアには、元貞教小学校跡地に京都美術工芸大学京都東山キャンパスが開設し、平成35年度には、崇仁学区内に京都市立芸術大学の移転を予定している。

○京都市立芸術大学には約1,000名の学生が、京都美術工芸大学には約500名の学生が在籍している。

○京都市立芸術大学では、移転予定地内の元崇仁小学校を活用して、作品制作や展覧会の開催等に取り組んでいる。また、崇仁学区の祭りや高瀬川音楽祭など地域のイベントに学生や教職員が参加している。

○京都美術工芸大学京都東山キャンパスでは、学生が地域の祭りやまちづくり団体の活動に参加しているほか、地域の方を招いたイベントも開催している。

○京都市立芸術大学からは、アーティストやデザイナーなどの芸術分野等、様々な分野への人材が輩出されている。また、京都美術工芸大学からは、窯元や社寺建築会社などの伝統工芸分野等、様々な分野への人材が輩出されている。

京都市立芸術大学（移転整備）

京都市立芸術大学は、建学以来140年にわたり、アーティスト、デザイナーなど、国内外の芸術界や産業界で活躍する人々を輩出し、文化芸術の発展に貢献されてきた。

京都市は、京都芸大が世界に向けて一層の飛躍を果たすとともに、「市民に愛され、誇りに思っていただけの大学」として、京都のまちとともに発展していくよう、京都の玄関口であるJR京都駅東部エリアへの移転整備を進めることとしている。

【移転整備の基本理念】

京都の玄関口・京都駅の東部エリアに、文化芸術を創造し、国際的に様々な人が集い、交流し、まちが賑わい、世界に発信する、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生する。

【これまでの京都駅東部エリアにおける取組】

- ◇ 京都国際現代芸術祭の特別連携企画として崇仁地域において、「still moving」を実施。翌年以降も継続して実施している。
- ◇ 元崇仁小学校を活用した展覧会の開催、学生・卒業生による作品制作
- ◇ 「still moving2017」において制作した高瀬川のテラスを活用した地域との連携事業の実施
- ◇ 「崇仁高瀬川保勝会」設立セレモニーにおける演奏や、崇仁地域の祭りやイベントへの学生・教職員の参加及び似顔絵コーナーや物販店の開設
- ◇ 下京涉成小学校をアトリエとして活用した制作事業及び制作作品の児童作品展への出展

【基本情報】京都市立芸術大学（学生数 1,034名）

学部	学科（専攻）
美術学部	美術科（日本画／油画／彫刻／版画／構想設計）
	デザイン科（ビジュアル・デザイン／環境デザイン／プロダクト・デザイン）
	工芸科（陶磁器／漆工／染織）
	総合芸術学科（総合芸術学）
音楽学部	音楽学科（作曲・指揮／ピアノ／弦楽／管・打楽／声楽／音楽学）

※大学院美術研究科及び音楽研究科を併設。※学生数は、平成30年5月1日現在

【移転整備スケジュール】

平成30・31年度 基本設計・実施設計
平成32～34年度 工事
平成35年度 供用開始（予定）

京都市立銅駝美術工芸高等学校（移転整備）

京都市は、京都市立銅駝美術工芸高等学校を京都市立芸術大学移転予定地に移転整備し、京都芸大との連携のもと、文化芸術の創造拠点の機能を一層高めていく。

【基本情報】京都市立銅駝美術工芸高等学校（生徒数 269名）

専攻科目
日本画／洋画／彫刻／漆芸／陶芸／染織／デザイン／ファッションアート

※生徒数は、平成30年5月1日現在

【移転整備スケジュール】 京都芸大と同じ

京都美術工芸大学京都東山キャンパス

世界を代表する美術工芸文化が息づく京都で、わが国の伝統と文化を尊重し、その継承と文化の創造を担う有為な人材を育成するため、美術工芸に係る教育・研究を行い、併せて教養を身につけた専門職業人を育てることにより、国家・社会の発展に貢献することを目的とされている。

同大学からは、窯元や社寺建築会社などの伝統工芸分野等、様々な分野への人材が輩出されている。

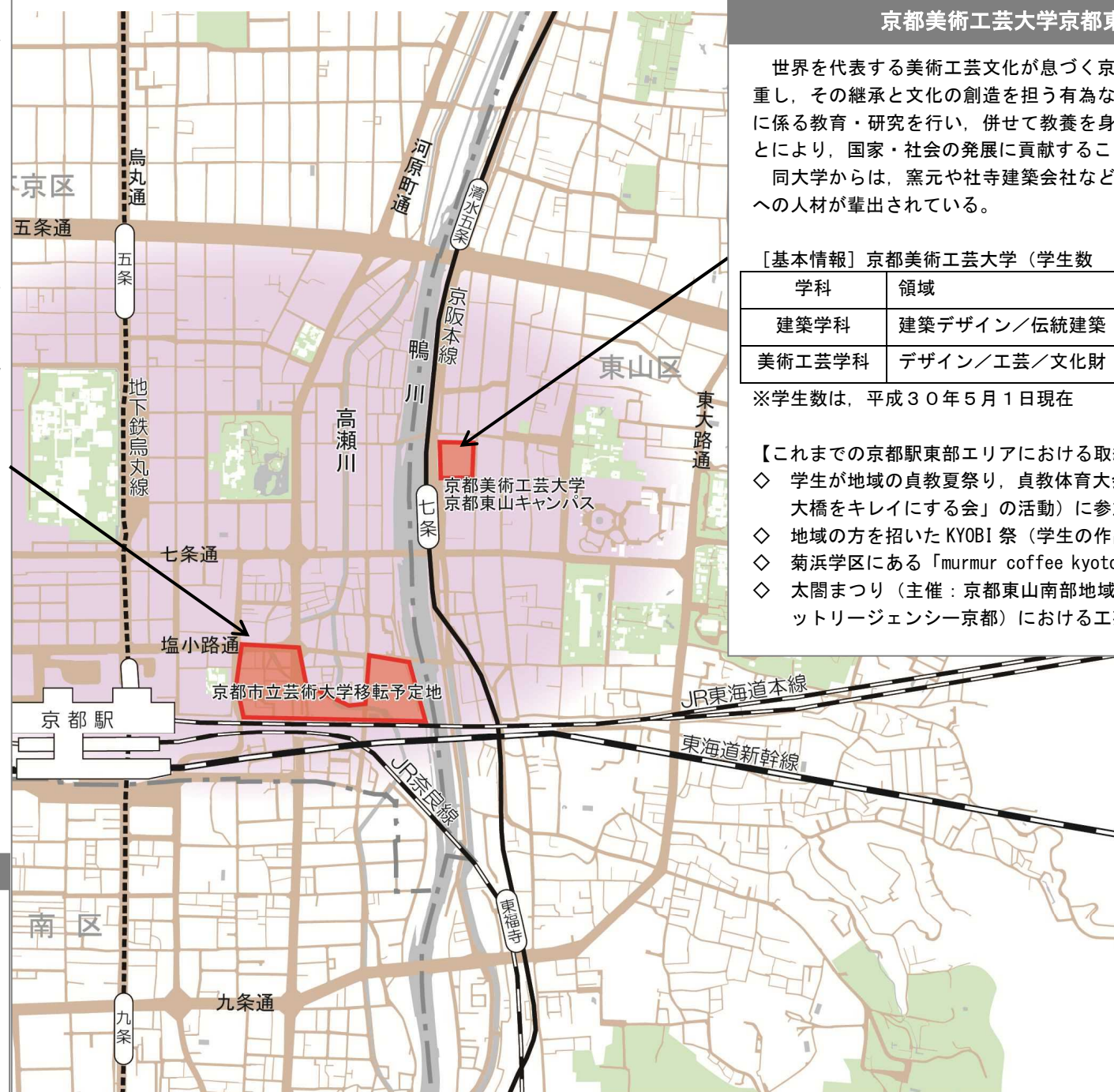
【基本情報】京都美術工芸大学（学生数 517名）

学科	領域
建築学科	建築デザイン／伝統建築
美術工芸学科	デザイン／工芸／文化財

※学生数は、平成30年5月1日現在

【これまでの京都駅東部エリアにおける取組】

- ◇ 学生が地域の貞教夏祭り、貞教体育大会や、七條大橋清掃活動（「七條大橋をキレイにする会」の活動）に参加
- ◇ 地域の方を招いた KYOBI 祭（学生の作品展示等）を開催
- ◇ 菊浜学区にある「murmur coffee kyoto」のコーヒーカップなどの製作
- ◇ 太閤まつり（主催：京都東山南部地域活性化委員会、事務局：ハイアットリージェンシー京都）における工芸品の展示



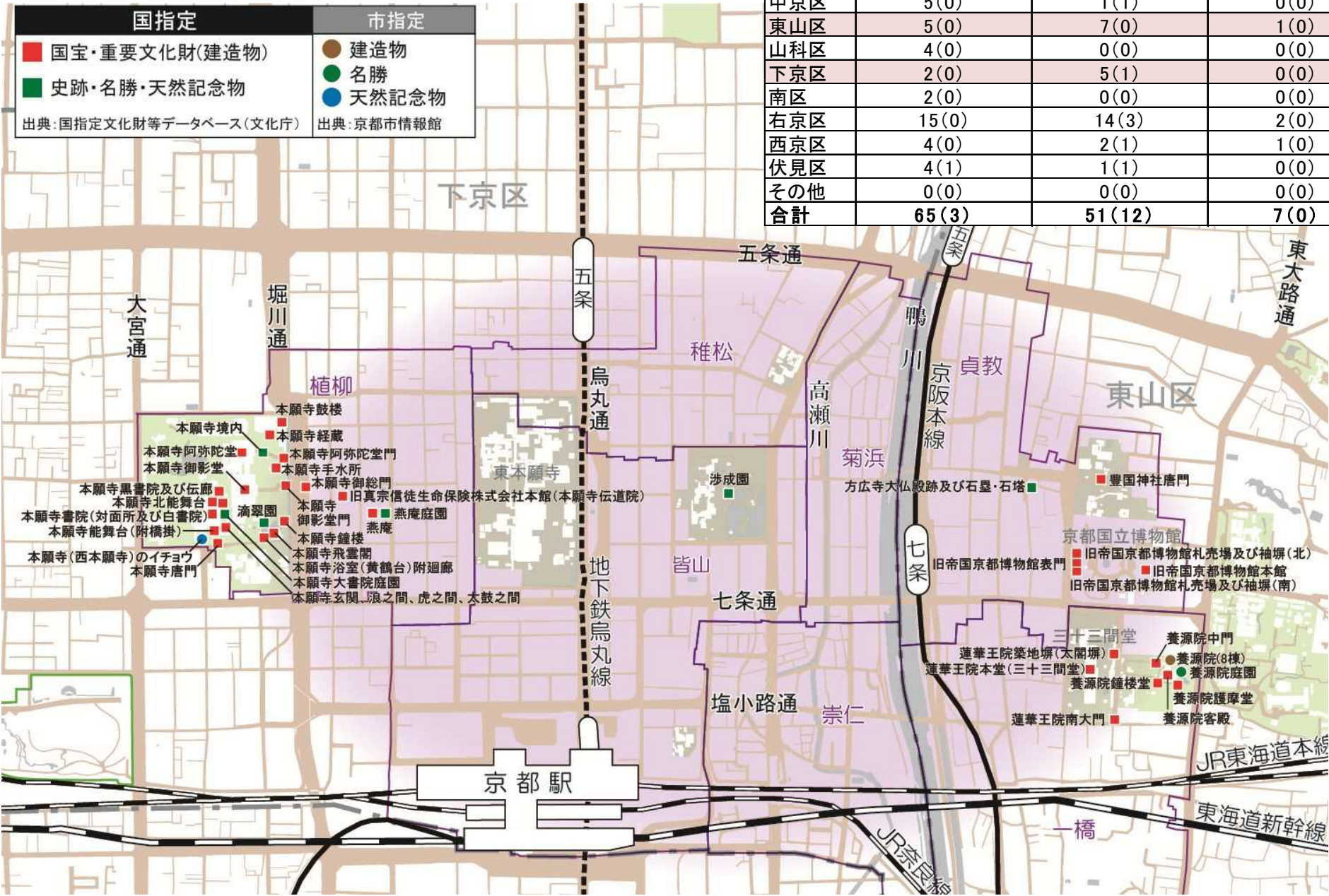
7 文化芸術等に関わる現況 ②文化財

現況

○行政区別の文化財（建造物及び史跡・名勝・天然記念物）の件数は、東山区が全市で2番目に多い。また、建造物は、東山区が72件と最も多い。
○京都駅東部エリア内にある文化財は、西本願寺及び東山七条周辺に多く集まっている。

■行政区別の史跡・名勝・天然記念物の指定件数

	国			京都府指定			京都市指定			合計
	史跡 (うち特別史跡)	名勝 (うち特別名勝)	天然記念物 (うち天然記念物)	史跡	名勝	天然記念物	史跡	名勝	天然記念物	
北区	8(1)	7(3)	1(0)	1	0	0	1	4	5	27
上京区	4(0)	3(0)	0(0)	0	0	1	0	5	1	14
左京区	12(1)	11(2)	2(0)	0	0	0	4	7	5	41
中京区	5(0)	1(1)	0(0)	0	0	0	1	3	1	11
東山区	5(0)	7(0)	1(0)	0	1	0	1	5	2	22
山科区	4(0)	0(0)	0(0)	0	0	0	0	1	0	5
下京区	2(0)	5(1)	0(0)	0	0	0	0	1	1	9
南区	2(0)	0(0)	0(0)	0	0	0	0	0	0	2
右京区	15(0)	14(3)	2(0)	2	0	1	4	4	7	49
西京区	4(0)	2(1)	1(0)	0	0	0	2	2	1	12
伏見区	4(1)	1(1)	0(0)	0	0	0	3	1	1	10
その他	0(0)	0(0)	0(0)	0	0	0	0	0	1	1
合計	65(3)	51(12)	7(0)	3	1	2	16	33	25	203



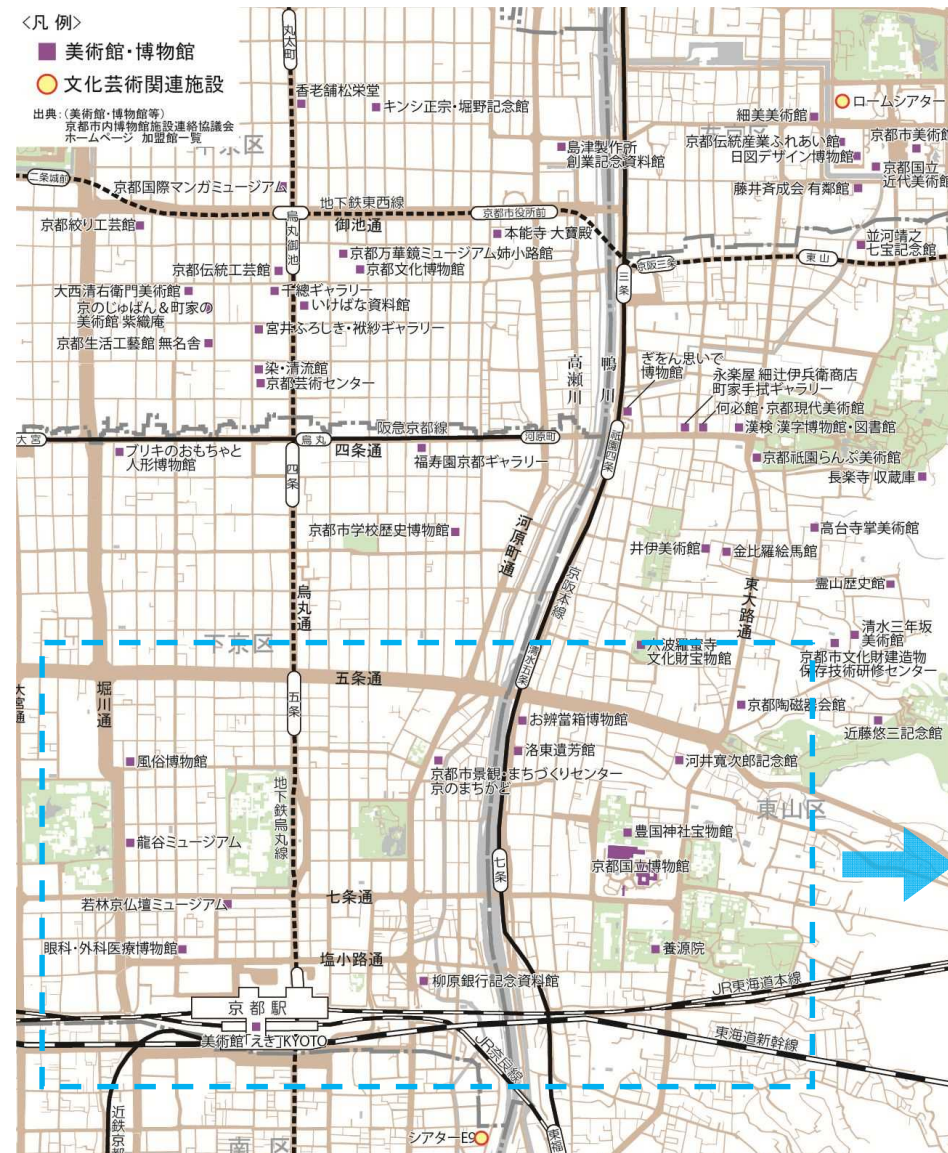
■行政区別の建造物の指定件数

	国 重要文化財 (うち国宝)	京都府指定	京都市指定	合計
北区	27(5)	4	6	37
上京区	13(2)	6	9	28
左京区	29(4)	4	9	42
中京区	4(1)	0	12	16
東山区	54(8)	9	9	72
山科区	2(0)	1	4	7
下京区	17(7)	0	4	21
南区	14(5)	0	2	16
右京区	24(3)	19	9	52
西京区	3(0)	3	4	10
伏見区	23(7)	2	4	29
その他	0(0)	0	0	0
合計	210(42)	48	72	330

7 文化芸術等に関わる現況 ③美術館・博物館、文化芸術関連施設

現況

- 京都駅東部エリアには、七条通沿いの京都国立博物館など、多くの美術館・博物館が立地している。
- 南北の鴨川、高瀬川及び河原町通沿いと東西の七条通及び塩小路通沿いにある文化芸術関連施設の一部を抽出したところ、これらの動線上には、多数の施設等が立地している。
- また、これらの動線上には、開化堂（茶筒）、真田紐師江南（京真田紐）など、伝統産業の事業所がある。
- なお、これらの動線上以外においても、京都駅東部エリア内には、文化芸術関連施設や京仏壇、京仏具、京焼・清水焼、伝統建築、能面、和蝋燭など、伝統産業の事業所が立地している。



① 【伝統工芸】真田紐師江南

戦国時代から続く真田紐の老舗。体験教室あり。京真田紐は京都市の伝統産業製品のひとつ。

② 【伝統工芸】開化堂

京都「開化堂」は、明治八年創業の日本で一番古い歴史をもつ手作り茶筒の老舗。茶筒は京都市の伝統産業製品のひとつ。

③ 【文化】サウナの梅湯

高瀬川沿いにある地域の銭湯。



- ＜凡 例＞
- 美術館・博物館
 - 文化芸術関連施設
 - 京都駅東部エリア
 - 京都駅西部エリア
 - 京都駅東南部エリア

※主に、京都市内博物館施設連絡協議会への加盟施設や、京都駅東南部エリアと歴史的都心地区を結ぶ高瀬川、鴨川及び河原町通沿い、京都駅西部エリア・京都駅周辺と東山のエリアを結ぶ七条通及び塩小路通において、文化芸術等に関連するキーワードをもとにweb検索により、施設等の一部を抽出した。

④ 【クリエイター】五条モール

平成25年9月、元お茶屋さんを改装した古い木造建築には、6つの部屋があり、各部屋の入居者は、飲食店や雑貨、古本屋、作家の工房、外国人向けの観光案内所を営業。

⑤ 【カフェ】murmur coffee kyoto

高瀬川沿いのカフェ。京都美術工芸大学の学生がコーヒーカップなど製作。

⑥ 【アート】崇仁新町

平成30年2月、JR 京都駅の東に誕生したアート&フードスポット。京都市立芸術大学の学生らのデザインによる屋台や広場、ステージが設営され、約2年半にわたり、芸術文化に関わるイベントなどを開催。

⑦ 【アトリエ】本町エスコーラ

京都市東山区本町の路地裏にある空き家を改修し、コミュニティスペースと住居・アトリエ棟などとして活用する場。

※ 出典：該当のホームページ等

8 交通環境の現況 ①鉄道

現況

○京都駅東部エリア内の鉄道駅は、「京都駅」（新幹線，JR，地下鉄，近鉄）、「清水五条駅」（京阪）、「七条駅」（京阪）、「五条駅」（地下鉄）がある。

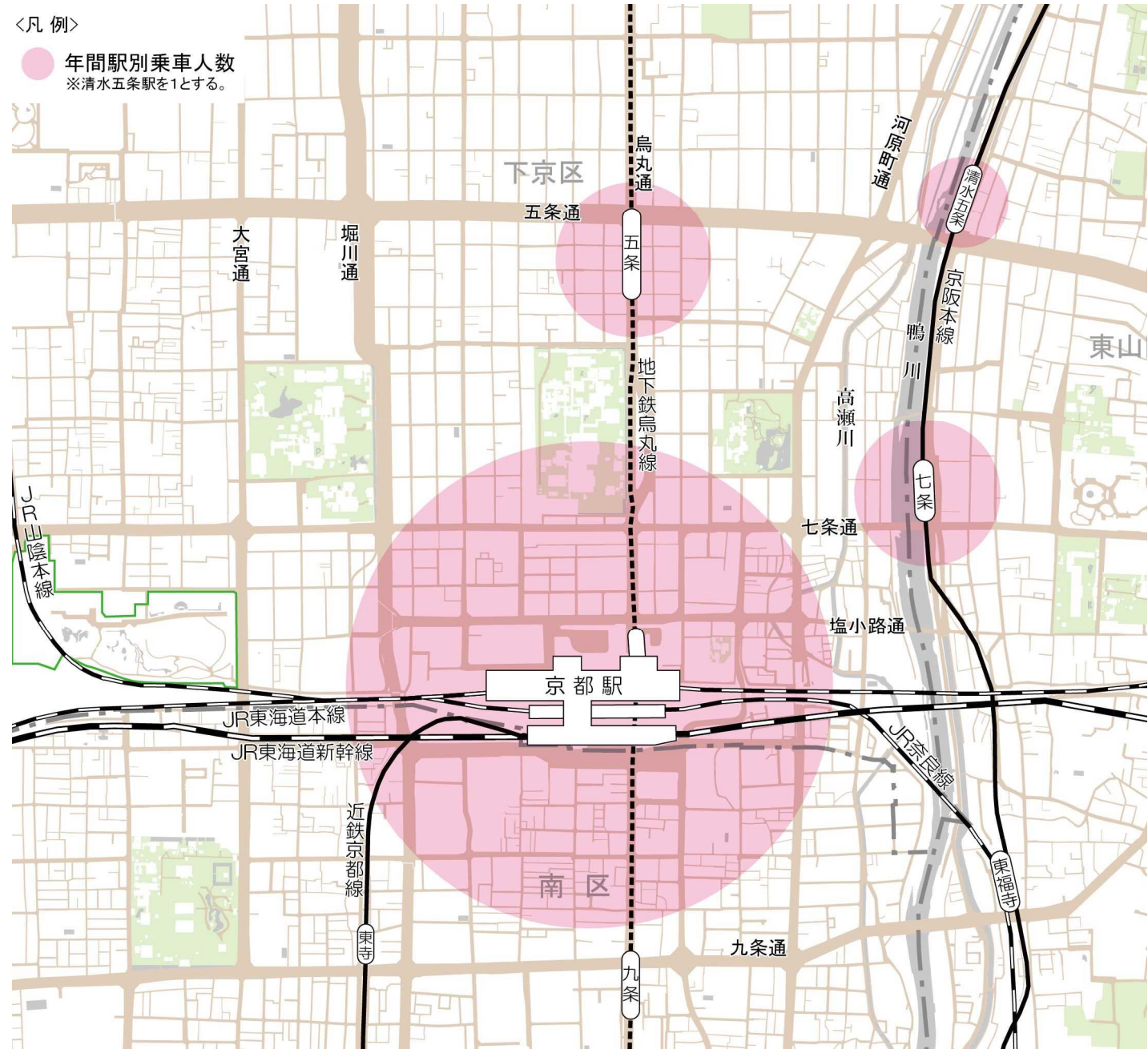
○京都駅の鉄道乗車人員数は35万人（1日あたり）と多い。それ以外の駅は，1万人以下となっている。

■鉄道駅及び鉄道乗車人員

駅名		H19 (2007)		H28 (2016)	
		日(人)	年(千人)	日(人)	年(千人)
京 都	(合計)	323,310	118,008	352,066	128,504
	(新幹線)	33,729	12,311	37,630	13,735
	(J R)	180,907	66,031	200,425	73,155
	(地下鉄)	53,222	19,426	61,992	22,627
	(近 鉄)	53,452	20,240	52,019	18,987
清水五条	(京 阪)	3,712	1,355	4,162	1,519
七 条	(京 阪)	7,088	2,587	6,690	2,442
五 条	(地下鉄)	5,800	2,117	6,953	2,538

※ 出典：京都府統計書「鉄道乗車人員」

■鉄道乗車人員（H28）



8 交通環境の現況 ②バス

現況

- 京都駅東部エリア内の主なバス停留所には、京都駅をはじめとする鉄道駅周辺にある「京都駅前」、「烏丸七条」、「七条河原町」、「七条京阪前」や、主な観光地周辺の「博物館三十三間堂前」、「東山七条」などがある。
- 「京都駅前」の乗降客数は50,177人（1日あたり）と全市で一番多く、「博物館三十三間堂前」の4,378人（1日あたり）、「東山七条」の2,417人（1日あたり）と続く。

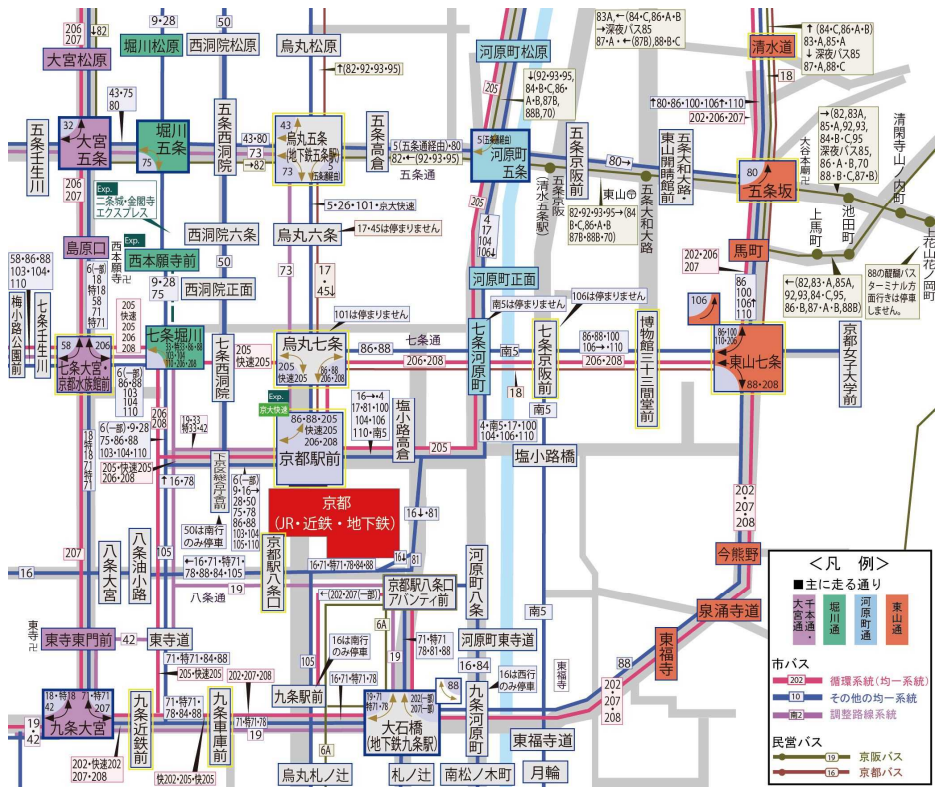
○京都駅東部エリア及びその周辺のバス路線は主に京都駅前を起点にしており、バス路線の南北軸は、主に東大路通、河原町通、烏丸通、堀川通及び大宮通の5つの通りで、東西軸は主に五条通、七条通、九条通の3つの通りである。

■市バスの主な停留所及び乗降客数（単位：人）

停留所名	乗降客数（日）	乗降客数（年）＊	全市の順位
京都駅前	50,177	18,314,605	1位
烏丸七条	1,964	716,860	74位
七条河原町	652	237,980	217位
七条京阪前	1,395	509,175	119位
烏丸五条	1,157	422,305	141位
河原町五条	1,243	453,695	130位
五条京阪前	128	46,720	455位
博物館三十三間堂前	4,378	1,597,970	32位
東山七条	2,417	882,205	61位

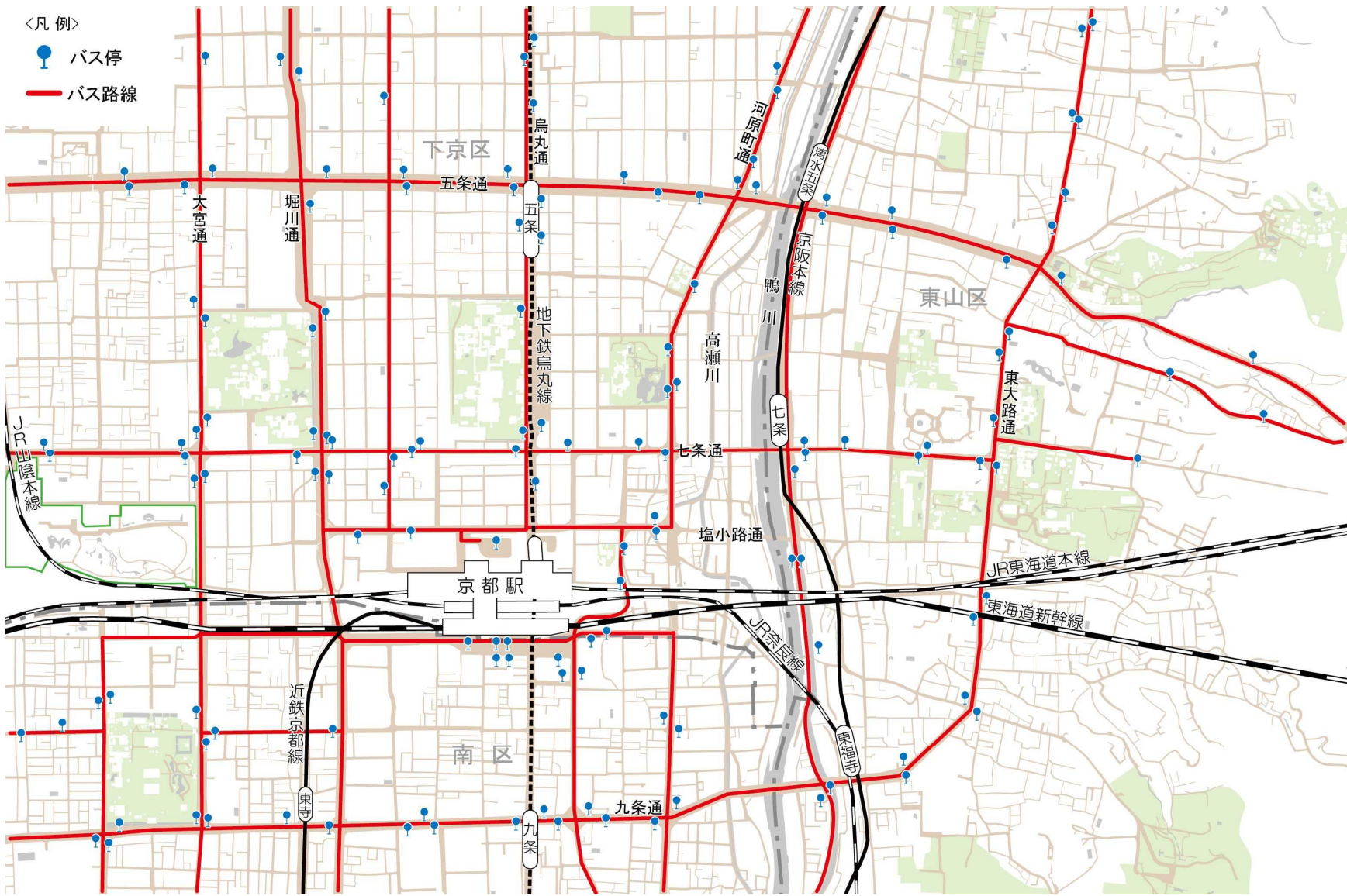
＊ 乗降客数（年）＝乗降客数（日）×365日

出典：平成24年京都市旅客流動調査



※ 出典：京都市交通局「京都市バス・地下鉄路線図」

■バス路線図（市バス、京阪バス、京都バス）

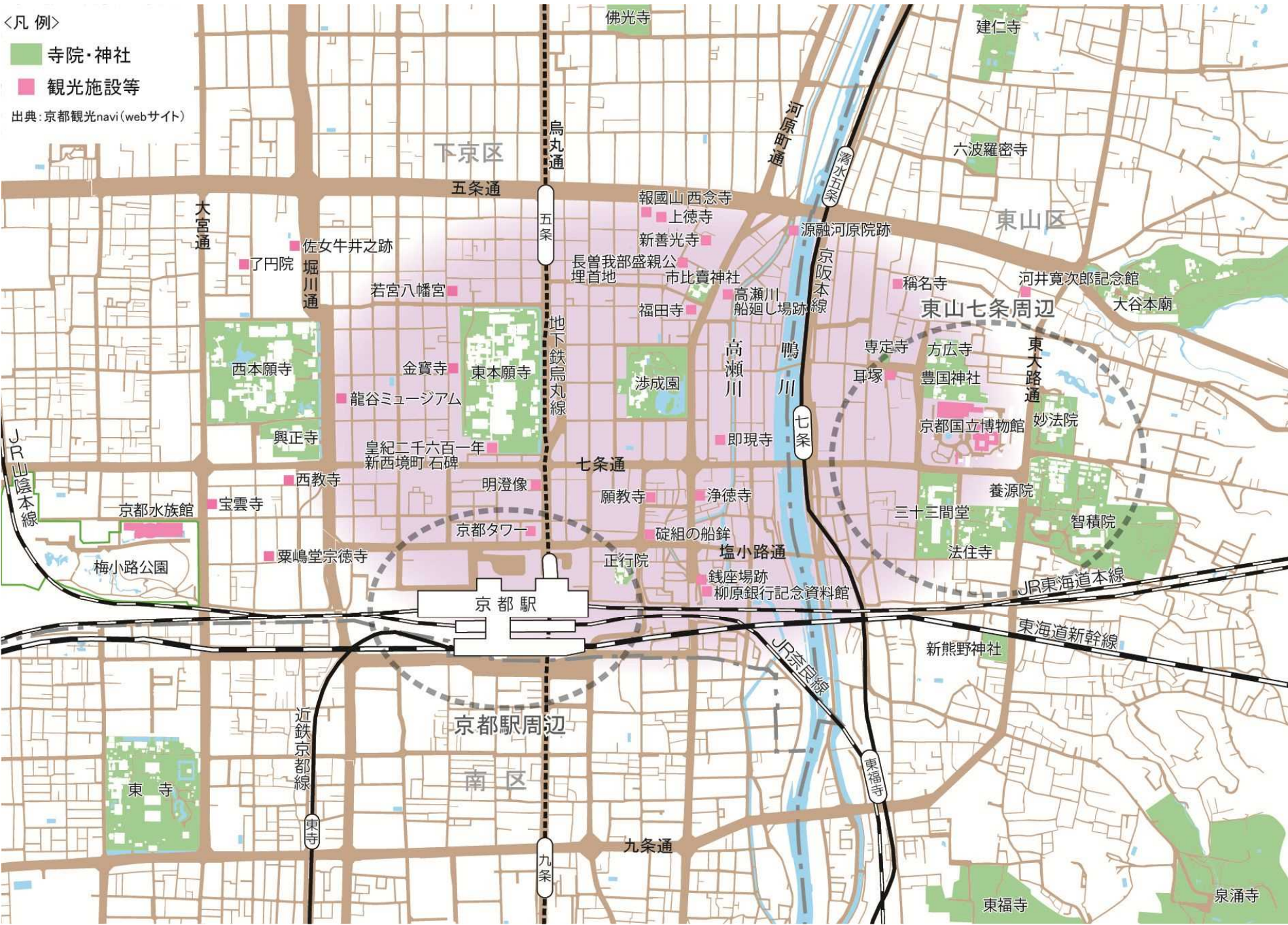


9 観光資源の立地

現況

○京都駅東部エリア内には、西本願寺、東本願寺のほか、鴨川東側の、七条通沿いや東山七条周辺には、三十三間堂、豊国神社や京都国立博物館など、寺院・神社や観光資源が多く立地している。
○京都駅の東には、南北に流れる、鴨川、高瀬川の潤い資源がある。

○京都の玄関口である「京都駅」を起点に、市内各所へ多くの観光客が訪れているが、本エリアの鴨川東側にも、人気の観光スポットが点在している。
○京都駅及びその周辺には、日本人の半数以上が、外国人の約3割が訪問している。
○本エリアにおいては、京都駅周辺のほか、東山七条周辺も、人気の観光地となっている。



■日本人観光客満足度調査 訪問地上位10位（複数回答）

	(%)
1 清水・祇園周辺	56.4
2 京都駅周辺	53.0
3 河原町三条・四条周辺	28.7
4 嵯峨嵐山周辺	26.5
5 東山七条周辺	20.7
6 二条城・壬生周辺	18.9
7 きぬかけの路周辺	16.7
8 伏見周辺	15.8
9 岡崎・蹴上周辺	15.2
10 銀閣寺・哲学の道・百万遍周辺	12.6

■外国人観光客満足度調査 訪問地上位20位（複数回答）

	(%)
1 清水寺	65.2
2 祇園	49.5
3 二条城	48.6
4 伏見稲荷大社	48.0
5 金閣寺	47.7
6 嵐山・嵯峨野	36.8
7 京都駅周辺	30.2
8 錦市場	27.7
9 ギオンコーナー	26.1
10 銀閣寺	24.0
11 八坂神社	23.4
11 河原町・四条周辺	23.4
13 伏見	21.4
14 京都御所	20.0
15 京都タワー	17.1
16 東山	12.9
17 南禅寺	10.8
18 龍安寺	10.7
19 三十三間堂	10.0
20 高台寺	9.8

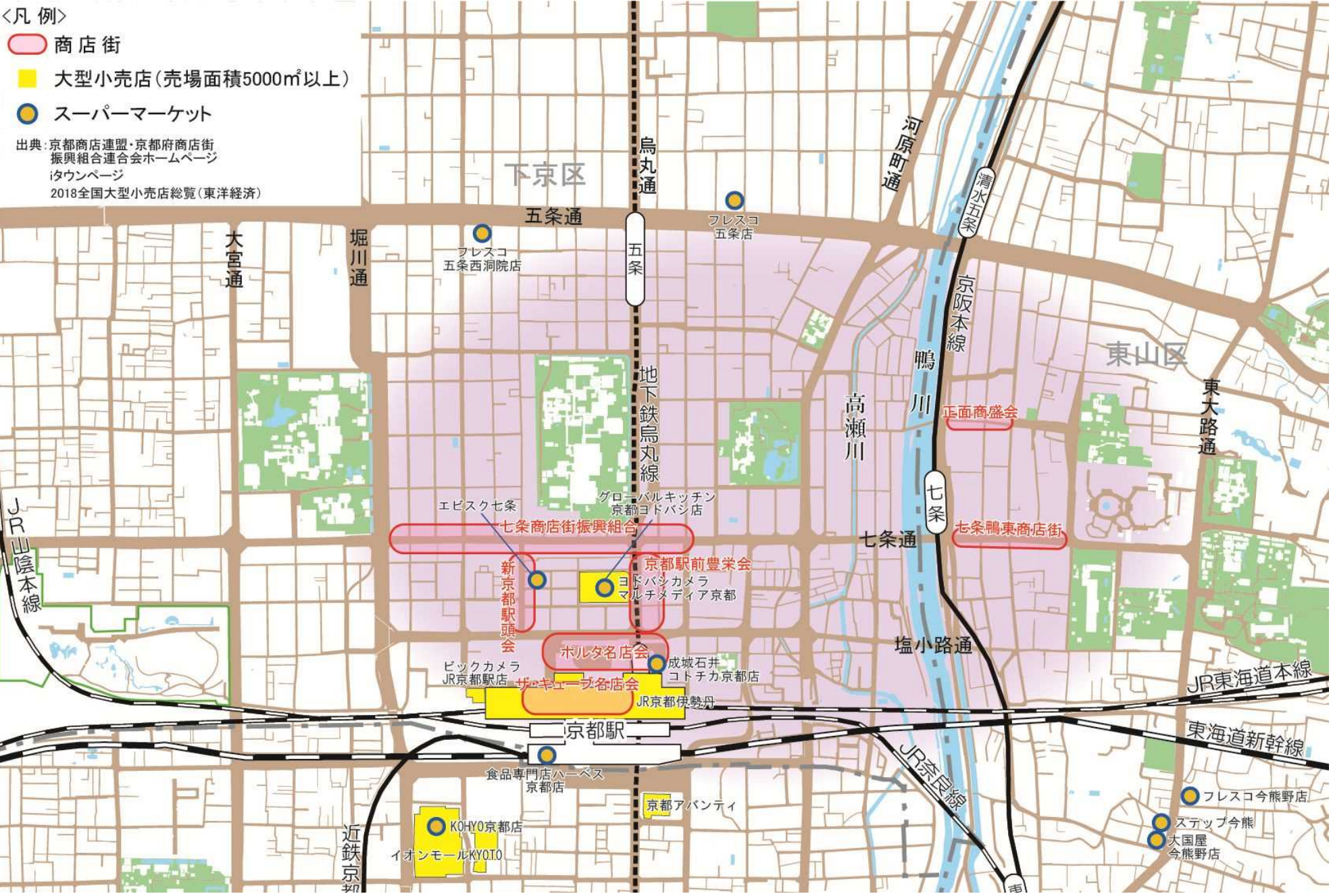
※ 出典：京都観光総合調査（平成29年1月～12月）

10 商業施設の立地

現況

○京都駅東部エリア内には、7つの商店街等の組織があり、主に京都駅の北側に集中している。
○なお、七条通沿いには、西大路通付近から東大路通付近まで断続的に商店街が形成されている。
○スーパーマーケットは、主に京都駅の北側や東大路通、五条通などの幹線道路沿いに立地している。

○大型小売店は京都駅及びその周辺に集積している。
○人口1万人あたりの事業所数、就業者数、年間商品販売額、売場面積をみると、京都駅周辺や四条通周辺など市内有数の商業集積地を含む下京区では、他の行政区に比べて集積度合いが大きい。
○スーパーマーケットはエリア内で偏在している。



■行政区別小売業の事業所数・就業者数・年間商品販売額・売場面積

	事業所数	就業者数 (人)	年間商品 販売額 (万円)	売場面積 (㎡)
北区	1,088	7,539	7,587,371	66,343
上京区	1,111	6,697	5,862,929	53,390
左京区	1,381	10,415	11,696,567	106,674
中京区	2,236	15,105	14,667,208	144,569
東山区	1,020	5,032	4,277,474	39,939
山科区	821	7,451	9,384,325	74,376
下京区	1,800	22,024	41,747,636	423,771
南区	1,015	10,358	27,380,201	119,165
右京区	1,391	11,179	14,616,177	139,188
西京区	758	6,746	7,120,321	75,387
伏見区	1,751	13,852	20,664,063	225,474

	人口1万人 あたり事業 所数	人口1万人 あたり就業 者数(人)	人口1万人 あたり年間 商品販売額 (万円)	人口1万人 あたり売場 面積(㎡)	人口 (人)
北区	91	630	634,194	5,545	119,638
上京区	131	791	692,551	6,307	84,657
左京区	82	618	693,578	6,326	168,641
中京区	205	1,386	1,345,591	13,263	109,002
東山区	260	1,281	1,089,220	10,170	39,271
山科区	61	550	692,289	5,487	135,555
下京区	220	2,691	5,101,627	51,785	81,832
南区	102	1,042	2,754,353	11,988	99,407
右京区	68	548	715,851	6,817	204,179
西京区	50	446	470,834	4,985	151,228
伏見区	62	493	735,182	8,022	281,074

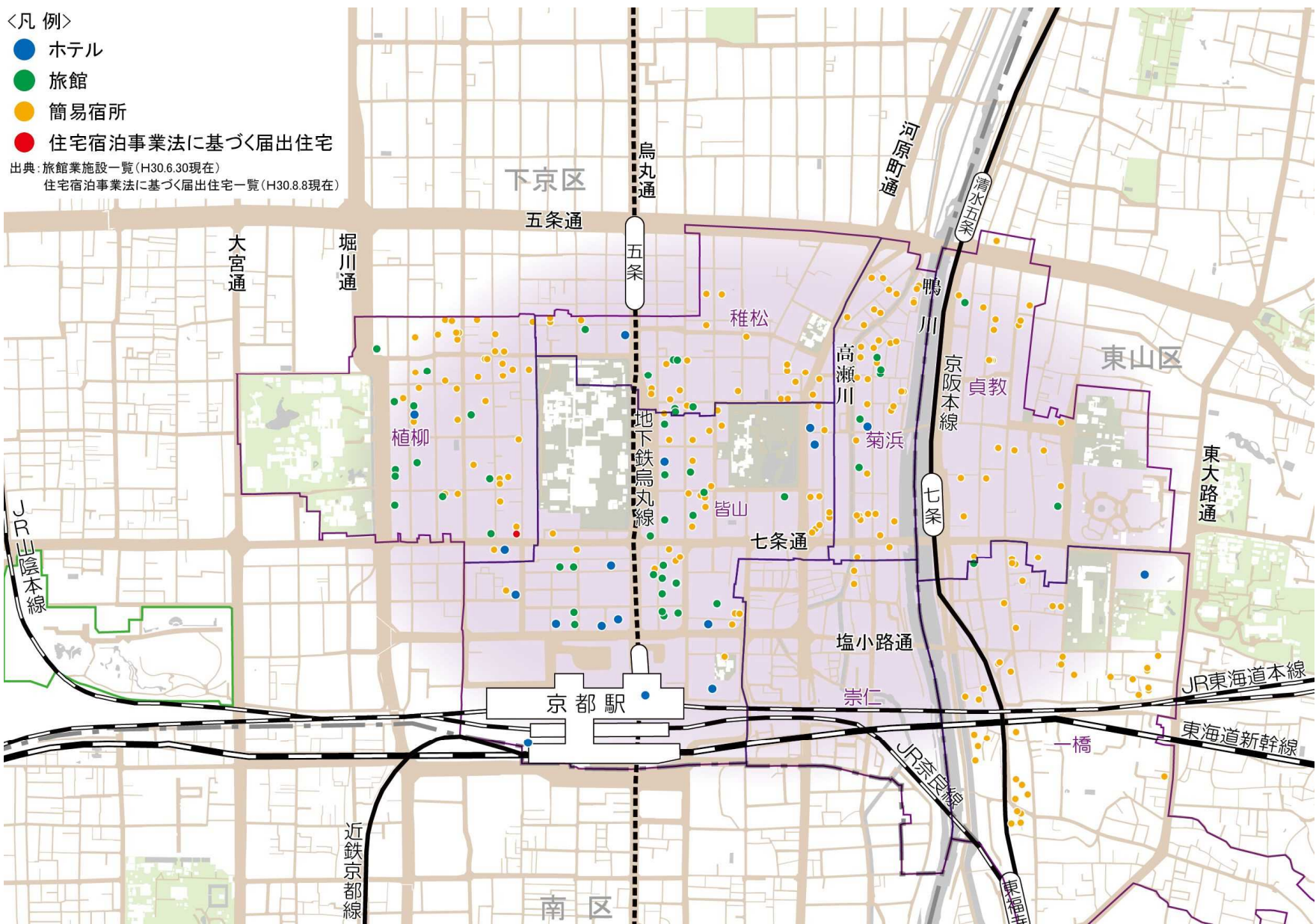
※ 出典：平成26年商業統計調査
京都市推計人口(平成26年10月1日現在)

11 宿泊施設の状況

現況

○京都駅東部エリアの学区内（一橋学区は東大路通以東を除く）にある宿泊施設として、ホテルは18軒、旅館は51軒、簡易宿所は204軒、「住宅宿泊事業法」に基づく届出住宅は1軒が立地している。
○ホテルや旅館は京都駅及び烏丸通周辺に多く立地している。

○行政区別の宿泊施設数は、下京区が最も多く、東山区が2番目に多い。
○平成30年6月15日に施行された「住宅宿泊事業法」に基づくいわゆる民泊の届出は、平成30年8月8日現在、エリア内においては1件である。



■7学区内の宿泊施設数（軒）

	ホテル	旅館	簡易宿所	住宅宿泊事業法に基づく届出住宅	合計
植柳	2	12	39	1	54
稚松	1	7	23	0	31
菊浜	1	5	40	0	46
皆山	13	24	36	0	73
崇仁	0	0	2	0	2
貞教	0	2	24	0	26
一橋	1	1	40	0	42
合計	18	51	204	1	274

■行政区別の宿泊施設数（軒）

	ホテル	旅館	簡易宿所	住宅宿泊事業法に基づく届出住宅	合計
北区	1	5	99	8	113
上京区	9	9	256	3	277
左京区	10	47	156	14	227
中京区	53	43	391	13	500
東山区	25	81	491	9	606
山科区	2	3	15	3	23
下京区	57	71	520	3	651
南区	27	2	307	5	341
右京区	7	17	101	7	132
西京区	11	8	14	3	36
伏見区	22	27	119	4	172
合計	224	313	2469	72	3078

12 まちづくり活動の状況

現況

- 「大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）」は、大学・産業界・地域社会などの交流拠点、「ひと・まち交流館京都」は、市民の活動拠点として活用されている。
- 「京都市立芸術大学を核とする崇仁エリアマネジメント」や高瀬川保勝会、「七條大橋をキレイにする会」などの団体があり、歴史や地域の資源を活かしたまちづくりの活動が活発に行われている。

- 東山区の五条通から南においては、「京都東山南部地域活性化委員会」が、「太閤まつり」を開催するなど、地域の振興に取り組んでいる。

① ひと・まち交流館 京都



市民活動総合センター、福祉ボランティアセンター、長寿すこやかセンター、景観・まちづくりセンターの4つのセンターからなる複合施設。京都市内における様々な分野のボランティア活動やNPO活動など営利を目的とせず、他者や社会に対して貢献する市民の自主的な活動を推進・支援する拠点として、平成15年に設置。災害時には災害ボランティア活動の拠点ともなる重要な役割も担っている。

② 七條大橋をキレイにする会

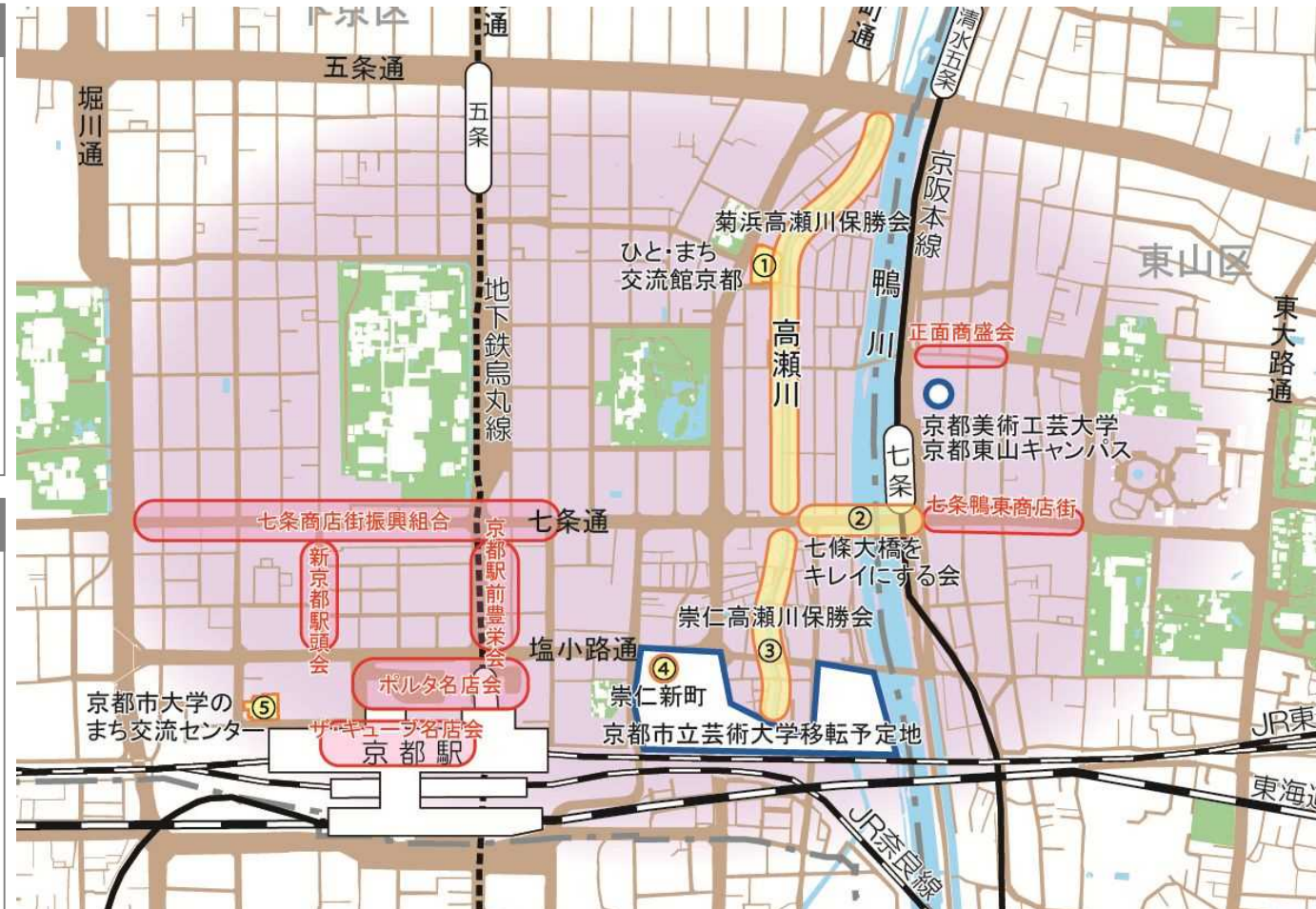


平成27年7月から、毎月7日に七條大橋の清掃活動に取り組むとともに、「七條大橋ライトアップ」事業などを実施し、竣工から105年が経つ七條大橋を誇り、美しく大切に人の輪を広げ、ひいては地域の発展に寄与することを目的として活動している。

⑤ 京都市大学のまち交流センター



京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）は、大学相互の間、大学と産業界、地域社会等との連携及び交流を促進する活動の拠点として設置された施設であり、講義室、演習室、会議室、ホールを備えている。



菊浜高瀬川保勝会

月1回の高瀬川と周辺の清掃をはじめ、ホテルの育成や小学生との水質調査・勉強会に取り組む。また、夏まつりでは、高瀬川灯ろう流しも実施。

京都市立芸術大学を核とする崇仁エリアマネジメント

京都市立芸術大学を「創造・交流・賑わい」の核として、移転までの間のプロセスを大切にしたいまちづくりを進めることを目的として、植柳、稚松、菊浜、皆山及び崇仁学区の自治連合会、市、民間アドバイザーで構成とする組織で、「崇仁新町」などの活動を展開している。

③ 崇仁高瀬川保勝会

高瀬川で行う月1回の清掃に合わせて、水の生き物調査や子どもたちの環境学習、高瀬川の将来像を語るワークショップを行い、ニュースレターを発行している。また、京都市立芸術大学の教員や学生の指導により、子どもたちや高齢者が水辺の生命をモチーフにした作品を制作している。

④ 崇仁新町



京都市立芸術大学の移転工事が開始されるまで、京都市の未利用地に常設型の屋台等を設置し、通年型にぎわい施設として運営するもの。エリアマネジメントの下部組織として、地域・民間・学識が連携して設立した「(一社) 渉成楽市洛座」が運営を行っている。

京都東山南部地域活性化委員会



「京都東山南部地域活性化委員会（事務局：ハイアットリージェンシー京都）」は、東山区の北は五条通、南は東福寺までの地域にある神社仏閣、商店街、ホテル、大学、博物館などのメンバーからなっている。同委員会では、太閤まつりの開催や東山南部地域の写真投稿企画を実施するなど、地域の振興に取り組んでいる。

※ 出典：該当のホームページ等